

# 消防年報

令和元年版

袋井市森町広域行政組合

# はじめに

この年報は、令和元年度中における当行政組合の消防の現勢及び業務に関する事項について概要をまとめたものです。皆様の消防行政についての認識とご理解を深めていただく一助となれば幸いです。

なお、この年報は災害活動に関する統計は暦年（平成31年1月から令和元年12月）、その他のものにあつては年度（令和元年4月から令和2年3月）集計となります。

令和2年6月

袋井市森町広域行政組合  
袋井消防本部

# 目 次

## 沿 革

袋井消防の沿革 .....	1
---------------	---

## 概 況

### 広域行政組合の概況

1 袋井市森町広域行政組合管内情勢 .....	14
(1) 組合の概況 .....	14
(2) 面積、人口及び世帯数 .....	14
(3) 管内図 .....	15
2 消防の組織 .....	16
(1) 消防本部・署 .....	16
(2) 消防団 .....	16
3 消防本部・署の事務分掌 .....	17
4 歴代消防長 .....	21
5 消防庁舎の配置と概要 .....	22
6 消防相互応援協定の締結状況 .....	24
7 その他応援協定の締結状況 .....	24

## 総 務

### 総 務 の 概 況

1 職員の状況 .....	25
(1) 消防職員配置状況・階級別消防職員数の状況 .....	25
(2) 職員の階級別年齢状況 .....	26
(3) 職員の勤続年数状況 .....	26
(4) 職員教育実施状況 .....	27

2	組合予算の状況	28
(1)	袋井市森町広域行政組合予算総括	28
(2)	歳入予算の内訳（当初予算）	28
(3)	歳出予算の内訳（当初予算）	29
(4)	一般会計と消防予算（当初予算）	29
(5)	消防費分担金の5か年の推移（当初予算）	29

## 予 防

### 予 防 の 概 況

1	主要事務事業	30
2	消防本部・消防署の立入検査状況	31
3	防火管理者選任状況	31
4	防火管理講習等実施状況	32
5	訓練指導等の状況	32
6	消防用設備等の検査状況	33
7	中高層建築物の状況	34
8	建築同意の状況	34
(1)	過去5年間の建築同意件数	34
(2)	用途別建築同意件数	35
9	高齢者世帯防火訪問結果	36
10	袋井保安管理協会	36
11	幼少年女性防火委員会	37
(1)	少年消防クラブ	37
(2)	幼年消防クラブ	37
(3)	女性防火クラブ	38

## 危険物

### 危険物施設の概況

1	危険物施設の推移	39
2	危険物施設状況	40

## 火 災

### 火 災 の 概 況

1	令和元年中の火災	41
(1)	火災の状況	41
(2)	火災の概要（前年比較）	41
2	月別火災発生状況	42
3	出火原因別火災発生状況	43
4	地区別火災発生件数	44
(1)	袋井市	44
(2)	森町	44
5	過去5年間の火災発生状況	45
6	過去10年間の主な火災（損害額1千万円以上の火災）	46

## 通 信

### 通 信 の 概 況

1	連絡の仕組み	47
2	消防無線の状況	48
3	電話設置状況	50
4	中東遠地域災害情報受信状況	51
(1)	119番通報受付（切断）状況	51
(2)	袋井消防本部（袋井市・森町）月別119番通報受付状況	53
5	車載端末装置の設置状況	54

## 警 防

### 警 防 の 概 況

1	消防本部・消防署の車両状況	55
(1)	現有台数	55
(2)	配備状況	55
2	消防水利の状況	56

## 救 急

### 救 急 の 概 況

1	市町別救急出動状況	57
2	事故別救急出動状況	57
3	市町別事故別救急出動状況	58
4	年齢別搬送人員	59
5	市町別月別救急出動状況	59
6	地区別出動状況	60
7	傷病程度別搬送人員	61
8	病院・医院別搬送人員	61

## 救 助

### 救 助 の 概 況

1	救助活動状況	62
2	事故種別発生場所別出動状況	62
3	月別出動状況	63
4	最近5年間の救助出動及び活動件数	63
5	救助工作車積載装備品一覧	64

## 消防団

### 消 防 団 の 概 況

1	消防団の状況	65
2	消防団の無線状況	66
(1)	袋井市消防団	66
(2)	森町消防団	67
3	消防団員（年齢・勤務年数・職業）調べ	69
(1)	袋井市消防団（団本部・袋井方面隊・浅羽方面隊・女性隊）	70
(2)	森町消防団	71
4	令和元年度実施した主な行事	72

浴

革

# 袋井消防の沿革

昭和38年4月1日	袋井市は、諸般の情勢から消防本部及び消防署設置の必要を認め、消防組織法（昭和22年法律第226号）第10条第1項及び第3項の規定に基づいて袋井市消防本部及び消防署を設置する。  消防本部（署）の位置 袋井市高尾1135番地の5  管轄区域 袋井市全域  職員数 消防本部・6人 消防署・12人  消防車両 指令車（日産ジュニア 可搬ポンプラビット  B-2級積載）  団共有 消防車（ダッシュ、団より返還 一部改造）  以上の組織をもって発足する。庁舎は市役所第3会議室を使用。  上記の内、消防署勤務内定の12人は、昭和38年3月15日より浜松市消防本部に教養委託し一般教養訓練を受ける。  5月24日 庁舎（市役所建物改造）事務室、仮眠室完成、移転し業務を行う。  8月5日 車庫（鉄骨スレート）完成する。ホースタワーは大和ハウス工業より寄贈をうける。  12月24日 消防ポンプ自動車（日産FR40 森田ポンプA-2級）購入、入魂式及び披露式を行う。  昭和39年1月2日 開署当時の消防車、消防団第21分団に貸与する。  2月12日 消防専用短波無線、基地局1基、移動局2基設置する。  昭和40年1月1日 消防本部、消防署設置が政令指定される。（政令第107号）  昭和41年6月21日 日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（日産FR40 森田ポンプA-2級）1台寄贈される。  翌日消防団第15分団に貸与する。  12月1日 静岡県西部6市消防団相互応援協定を締結する。  先に消防団第15分団に貸与した消防ポンプ自動車が返納され、消防署に配置、署の消防車2台となる。  昭和42年3月22日 職員定数条例改正定数27人となる。  昭和43年5月2日 法多山尊永寺より救急車（日産 セドリック C型）1台貸与され、法多山号と
-----------	--

	命名される。
9月20日	袋井市救急業務取扱規程を制定する。
11月20日	消防団第21分団に指令車（日産ジュニア 可搬ポンプ ラビットB-2級搭載）を貸与する。
昭和44年1月22日	日本道路公団より救急車（日産セドリック B型）1台貸与される。
1月31日	浜松市、磐田市、掛川市、菊川町の間で東名高速道路に関する消防相互応援協定を締結する。
4月1日	職員定数条例改正、定数32人とし、実数29人となる。
4月17日	救急業務が政令指定される。（政令第97号）
10月2日	従来の短波無線から超短波無線に変更する。
昭和45年3月11日	日本道路施設協会の寄付金及び国庫補助により救急車（トヨペットクラウン A型）1台購入する。
3月16日	消防用ホース65mmから50mmに変更される。
4月1日	消防職員実数32人となる。
5月1日	袋井市役所移転により旧庁舎の一部を改善し、事務室、通信室を移転する。
5月26日	指令車を更新する。
昭和46年4月1日	隣接の森町、浅羽町を含めた袋井市外2町消防組合を発足 職員定数条例改正57人となる。
6月1日	森町、浅羽町、消防本部、消防署の設置が政令指定される。（自治省告示第110号）
8月20日	森分署、浅羽分署に配置する消防ポンプ自動車（日産パトロール FH型 森田ポンプ A-2級）2台購入する。
昭和47年3月16日	森分署配属の救急車（トヨタハイエース 2B型）1台購入する。
3月30日	日本道路施設協会より救急車（トヨタハイエース 2B型）1台寄贈され、浅羽分署に配置する。
3月31日	森分署、浅羽分署の開署式を挙行、両分署にそれぞれ消防車1台、救急車1台、分署長以下13人で発足する。
4月1日	森分署、浅羽分署業務開始、職員定数条例改正、定数69人とし、消防本部7人、本署31人、森分署13人、浅羽分署13人、実数64人となる。
6月1日	森分署、浅羽分署に本署職員各2人を配置替え、15人となる。
7月31日	連絡車（トヨペットコロナV）1台購入、本署に配置する。

- 9月5日 タンク車（日野KL300 森田ポンプ A-2級）1台購入、本署に配置する。
- 12月25日 袋井市川井996番地の2に袋井消防本部（署）新庁舎落成、業務を開始する。
- 昭和48年4月1日 職員定数条例改正、定数80人となり、本部10人、本署31人、森分署15人、浅羽分署15人、実数71人となる。
- 5月1日 森分署に本署職員2人配置替えし、17人となる。
- 7月15日 袋井消防署に救助隊結成、隊長以下12人で発足する。
- 昭和49年3月15日 救急指令装置を導入する。
- 4月1日 消防職員増員により本署36人となり、総員78人となる。
- 8月30日 森分署にタンク車（日野KL300 森田ポンプ A-2級）1台配置する。
- 昭和50年4月1日 消防職員増員により本部12人、本署32人、森分署19人、浅羽分署17人、実数80人となる。
- 11月5日 日本損害保険協会より、消防ポンプ自動車（日産FH60小池ポンプA-1級）寄贈、本署に配置する。
- 昭和51年2月6日 査察車（日産ブルーバードV 可搬ポンプラビット C-1級 搭載）本部に設置、また本署に定置式可搬ポンプ（ラビット B-2級）を配置する。
- 4月1日 職員定数条例改正84人となり、本部11人、本署35人、森分署20人、浅羽分署17人、実数83人となる。
- 5月1日 森分署に本署職員2人配置替えし、21人となる。
- 昭和52年3月4日 袋井市外2町消防組合、袋井市消防団が消防庁長官表彰旗受彰
- 4月1日 職員定数条例改正86人となり、浅羽分署に2人増員19人、実数85人となる。
- 5月27日 森分署、浅羽分署に連絡車（三菱H-J26 可搬ポンプラビットC-1級搭載）それぞれに配置する。
- 9月28日 化学車2型（日野KL501型 森田ポンプ A-2級）購入、本署に配置する。
- 昭和53年3月3日 本署救急車（トヨタPH42VP-JRT 2B型）を更新する。
- 7月20日 森・浅羽分署に定置式可搬ポンプ（ラビット B-2級）を配置する。
- 7月31日 本署消防ポンプ車（日産FH60 森田ポンプ A-2級）を更新する。
- 9月26日 東京海上火災保険株式会社より広報兼地震対策車（三菱ジープHJ46 9人乗り可搬ポンプラビット C-1級搭載）寄贈、本署に配置する。
- 9月30日 本署車庫増築工事（鉄骨99㎡）が竣工される。
- 10月20日 情報収集用赤バイ（ホンダCB250）1台購入、本署に配置する。

昭和54年7月10日 法多山尊永寺より査察車（日産サニーV）寄贈、本署に配置する。

8月21日 総合気象観測装置の整備をする。

昭和55年3月21日 救助工作車（日野KL505 ウインチ、クレーン、発電装置装備）購入、本署に配置する。

5月17日 磐田信用金庫創立30周年記念により救急車2台寄贈され、森、浅羽分署救急車を更新する。

6月13日 本署訓練場及び駐車場用地（1,140㎡）を購入する。

6月25日 本署敷地内にコミュニティ防災センター（鉄筋コンクリート267.62㎡）及び飲料用100t水槽を竣工する。

昭和56年3月25日 袋井消防署にホースタワー（双葉ホースタワーA-22型 540万円）が完成する。

3月31日 浅羽分署消防ポンプ車（日産FG160A 森田ポンプA-2級）を更新する。

5月1日 袋井市同報無線開局に伴い、袋井消防署に放送装置を設置する。

9月8日 袋井消防署「職員交通安全会」を設立する。

11月12日 森分署庁舎増改築工事（2,880万円）が竣工される。

昭和57年4月1日 職員1人増員、実数86人となる。

組合管内ガス事故発生時における応急対策に関する協定書を締結する。

7月3日 陸上貨物運送事業労働災害防止協会静岡県支部より救急車1台寄贈され、本署救急車を更新する。

8月26日 現場本部車（日産キャラバン 9人乗り ハイルーフV）購入、本署に配置する。

11月18日 森分署消防ポンプ車（イスズエルフ K-TLD46 森田ポンプA-2級）を更新する。

昭和58年4月1日 袋井市外2町消防組合管内ガス保安対策連絡会議を設立する。

昭和59年1月1日 通信指令室を防災センターに移転、同時に消防救急指令装置を更新する。

1月31日 本署待機室の一部改造工事を行う。

7月27日 査察車（トヨタカーリーナV）を本署に配置する。

8月8日 袋井市よりマイクロバス（三菱 29人乗り）寄贈、本署に配置する。

3月31日 職員2人退職により、実数84人となる。

昭和60年4月1日 本部職員12人、本署職員36人、森分署職員19人、浅羽分署職員17人となる。

昭和61年2月28日 小型動力ポンプ付水槽車（三菱、シバウラ B-2級搭載10t）を本署に配置、1号車を更新する。

- 7月21日 日本消防協会より救急車（日産キャラバン 2B型）が寄贈され本署に配置、救急2号車を更新する。
- 7月30日 資材運搬用トラック（マツダタイタン2t）を購入、本署に配置する。
- 9月13日 日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車（三菱 A-1級）が寄贈され浅羽分署に配置、袋井8号車を更新する。
- 昭和62年3月16日 本署庁舎一部増改築工事を行う。
- 4月1日 職員1人採用により、職員数85人となる。
- 8月17日 査察車（トヨタカローラV）を購入する。
- 昭和63年4月1日 本部職員21人（うち通信員8人）、本署職員28人、森分署職員18人、浅羽分署職員16人となる。
- 5月10日 森分署、浅羽分署救急車（トヨタ 2B型）を更新する。
- 8月31日 職員1人退職により、82人となる。
- 平成元年3月10日 浅羽分署庁舎増改築工事（1,224万円）が竣工される。
- 4月1日 職員1人採用により、職員数83人となる。
- 10月14日 森分署小型動力消防ポンプ付水槽車（三菱U-F E337B シバウラB-2級搭載7t）を配置、4号車を更新する。
- 11月24日 救急1号車（日産キャラバン 2B型）を更新する。
- 平成2年4月1日 職員2人増員、実数85人となる。
- 4月26日 静岡県代表として、全国消防長会関東支部消防職員意見発表大会に出場する。
- 9月28日 指令車（クラウン）を更新する。
- 10月29日 浅羽分署消防ポンプ車（三菱U-F E337B 森田ポンプCD-1型動力ホースカー付）を更新する。
- 12月20日 現場本部車（ハイエース）を更新する。
- 平成3年4月1日 職員2人採用、1人市長部局へ、実数86人となる。
- 6月7日 「袋井市外2町消防組合管内婦人防災隊連絡会」を設立する。
- 7月16日 袋井1号車、小型動力消防ポンプ（B-2級）を更新する。
- 10月14日 気象観測装置を更新する。
- 12月24日 職員定数条例改正、定数96人となる。
- 平成4年2月20日 マイクロバス（トヨタコースター 29人乗り）を更新する。
- 3月16日 救急波無線を整備する。

- 4月1日 職員2人採用、実数88人となる。
- 9月17日 小型動力ポンプ4台（ラビット C-1型）を更新する。
- 10月1日 袋井消防署救助訓練塔工事を起工する。
- 10月7日 広報車（三菱パジェロ）を更新する。
- 11月2日 森分署消防ポンプ車（三菱U-FE337B 4輪駆動 森田ポンプCD-1 電動ホースカー付）を更新する。
- 11月7日 袋井市田町婦人防災隊が静岡県知事褒章を受賞する。
- 12月13日 消防創立30周年記念「東海道どまん中ファイヤーフェスティバル」を開催する。
- 12月21日 職員定数条例改正、定数105人となる。
- 平成5年2月26日 袋井消防署救助訓練塔が完成する。
- 3月31日 職員1人退職により、87人となる。
- 4月1日 職員5人採用、実数92人となる。
- 7月14日 袋井消防署浅羽分署新庁舎建設工事を起工する。
- 9月1日 森町ライオンズクラブより救急訓練用人形が寄贈される。
- 9月8日 患者監視装置を導入する。
- 10月26日 県高圧ガス、危険物防災訓練が袋井市（松本油脂）で開催される。
- 11月15日 消防指令救急波接続装置を設置する。
- 11月24日 非常用電源装置を設置する。
- 平成6年3月1日 磐田郡浅羽町浅名1045番地に浅羽分署新庁舎が落成し、移転する。
- 3月31日 職員2人退職により、実数90人となる。
- 4月1日 職員6人採用、実数96人となる。  
組織機構改革に伴い、課制（管理課、予防課）を導入する。
- 9月12日 本署・森分署・浅羽分署に可搬ポンプ台車付（ラビットC-1）を配置する。
- 平成7年3月24日 袋井消防署に初の高規格救急車が導入され、救急袋井2号車（高規格救急車 日産パラメディック）を更新する。  
化学車（日野U-GD3HGAA 崑山ポンプA-2級）を更新する。
- 3月31日 職員1人退職により、実数95人となる。
- 4月1日 職員5人採用、実数100人となる。
- 5月29日 袋井4号車、小型動力ポンプ（ラビット B-2級）を更新する。
- 11月24日 30m級はしご付消防ポンプ自動車（日野KC-PR4FPDF 森田ポンプ

	A-2級)購入、本署に配置する。
12月12日	救助工作車(Ⅱ型 日野KC-GD1JGBA 森田ポンプ)を更新する。
平成8年3月31日	職員3人退職により、実数97人となる。
4月1日	職員5人採用、市長部局から1人、実数103人となる。
5月22日	初の救急救命士が誕生する。
7月9日	袋井1号車 小型動力ポンプ(ラビット B-2級)を更新する。
7月26日	査察車(61号車 スズキ軽バン)を更新する。
11月26日	救急森1号車、救急浅羽1号車ともに高規格救急自動車(トヨタハイメディック)に更新する。
平成9年3月31日	職員1人退職により、実数102人となる。
4月1日	職員3人採用、実数105人となる。 消防緊急通信指令システム(NECⅡ型)を導入、運用開始する。
7月10日	査察車(65号車 トヨタカルディナバン)を更新する。
11月25日	救急心電図伝送装置導入(袋井市民病院)運用開始する。
平成10年3月10日	消防ポンプ自動車(2号車 三菱KC-FE538B 森田ポンプCD-1型 電動ホースカー付)を更新する。 救急袋井1号車高規格救急自動車(トヨタハイメディック)を更新する。
3月31日	職員3人退職により、実数102人となる。
4月1日	職員2人採用(内1人女性)、市長部局から1人、実数105人となる。
4月28日	救急救命士(女性)が誕生する。
12月1日	救急心電図受信装置(森町病院)運用開始する。
平成11年3月31日	職員1人退職により、実数104人となる。
4月1日	職員1人採用、1人市長部局へ、実数104人となる。
4月8日	職員1人退職により、実数103人となる。
11月15日	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車(ニッサンA-1級)が 寄贈され、浅羽分署に配置、袋井8号車を更新する。
12月21日	本部、本署庁舎の耐震補強工事が完成する。
平成12年3月31日	職員1人退職により、実数102人となる。
4月1日	袋井市外2町消防組合、袋井地域環境厚生施設組合及び袋井市広域施設組合が 統合し、袋井市森町浅羽町広域行政組合が発足する。

	職員 4 人採用、1 人(その他の職員)組合事務局へ、実数 105 人となる。
7 月 10 日	袋井 4 号車、小型動力ポンプ (ラビット B-2 級) を更新する。
7 月 31 日	磐田信用金庫創立 50 周年記念により、指令車 (トヨタクラウン) 1 台、 現場本部車 (トヨタグランビア) 1 台及び連絡車 (トヨタエース) 2 台寄贈され、 51 号車 (指令車)、62 号車 (現場本部車)、63・64 号車 (森・浅羽分署連絡車) を更新する。
8 月 17 日	職員 1 人退職により、実数 104 人となる。
12 月 25 日	訓練塔塗装改修工事が完成する。
平成 13 年 3 月 1 日	職員 1 人を県消防防災航空隊へ派遣する。
3 月 31 日	職員 4 人退職により、実数 100 人となる。
4 月 1 日	職員 5 人採用、市長部局から 2 人、1 人 (消防職員) 組合事務局へ、実数 105 人 となる。
7 月 26 日	(株)アクト・メイト創立 20 周年記念により、広報車 (スズキエスクード) 1 台 寄贈され、73 号車 (本部広報車) を更新する。
9 月 17 日	森分署移転新築工事に伴う起工式が行われる。
平成 14 年 3 月 20 日	浅羽分署ホースタワー塗装改修工事が完了する。
3 月 31 日	職員 1 人退職により、実数 104 人となる。
4 月 1 日	職員 1 人採用、実数 105 人となる。
8 月 28 日	周智郡森町森 48 番地の 2 に森分署新庁舎が落成し移転する。
10 月 1 日	消防本部、本署、森分署及び浅羽分署が管理市のグループウェアに接続され、 全署所及び管理市との LAN によるネットワークが構築される。
10 月 24 日	職員定数条例改正、定数 109 人となる。
12 月 31 日	職員 1 人退職により、実数 104 人となる。
平成 15 年 1 月 31 日	袋井 1 号車 (水槽付ポンプ車) を更新する。
3 月 31 日	職員 1 人退職により、実数 103 人となる。
4 月 1 日	職員 2 人採用、市長部局から 1 人により、実数 106 人となる。
8 月 8 日	森分署庁舎ガラス飛散防止工事が完了する。
平成 16 年 3 月 31 日	職員 1 人退職により、実数 105 人となる。
4 月 1 日	職員 4 人採用、実数 109 人となる。  職員 1 人を県防災局緊急防災支援室へ派遣する。

7月30日	袋井消防署ホースタワー・車庫底塗装工事が完了する。
12月31日	職員1人退職により、実数108人になる。
平成17年1月12日	救急袋井2号車（高規格救急車）を更新、緊急消防援助隊へ登録する。
1月27日	森分署4号車（水槽付ポンプ車）を更新する。
3月31日	職員4人退職により、実数104人となる。
4月1日	袋井市と浅羽町の合併により、袋井市森町浅羽町広域行政組合から、 袋井市森町広域行政組合に名称変更する。  職員3人採用、市長部局から2人により、実数109人となる。  職員1人を県消防学校へ教官として派遣する。
11月1日	職員定数条例改正、定数119人となる。
12月21日	浅羽分署6号車（ポンプ車）を更新する。
平成18年3月10日	浅羽分署非常用発電機燃料タンク増設工事が完了する。
3月31日	職員2人退職により、実数107人となる。
4月1日	職員3人採用、市長部局から1人により、実数111人となる。
7月22日	連絡車61号（軽バン）を更新する。
9月30日	職員1人退職により、実数110人になる。
平成19年2月28日	救急浅羽1号車（高規格救急車）を更新する。
3月31日	職員4人退職により、実数106人となる。
4月1日	職員5人採用、市長部局から1人、1人市長部局へ、実数111人となる。
11月29日	ヴィッツ（事務用連絡車）を購入する。
平成20年2月28日	救急森1号車（高規格救急車）を更新する。
3月31日	職員4人退職により、実数107人となる。
4月1日	職員7人採用、市長部局から2人、2人市長部局へ、実数114人となる。
7月3日	全国消防長会技術委員会を袋井市内にて開催する。
7月31日	職員1人退職により、実数113人になる。
8月29日	静岡県代表として、第37回全国消防救助技術大会（ロープブリッジ渡過）に出場する。
10月30日	袋井消防署袋井31号車（はしご車）のオーバーホールを終了する。
12月12日	査察車（65号車 ホンダステップワゴン）を更新する。
12月31日	職員1人退職により、実数112人になる。

平成21年2月27日 森分署袋井5号車（ポンプ車）を更新する。

3月31日 職員5人退職により、実数107人となる。

4月1日 職員7人採用、市長部局から3人、2人市長部局へ、実数115人となる。

6月1日 職員1人採用により、実数116人となる。

6月30日 職員1人退職により、実数115人となる。

8月20日 静岡県代表として、第38回全国消防救助技術大会（ロープブリッジ渡過）に出場する。

11月30日 職員1人退職により、実数114人となる。

12月31日 職員1人退職により、実数113人となる。

平成22年2月24日 救急袋井1号車（高規格救急車）を更新する。

3月1日 職員1人を県消防防災航空隊へ派遣する。

3月31日 職員5人退職により、実数108人となる。

4月1日 職員6人採用、市長部局から3人、1人市長部局へ、実数116人となる。

8月10日 中東遠地域消防指令業務共同運用推進協議会設立

平成23年3月11日 東日本大震災に緊急消防援助隊静岡県隊として救急隊・後方支援隊40名を派遣  
（期間 平成23年3月11日～平成23年4月1日）

3月31日 職員10人退職により、実数106人となる。

4月1日 職員7人採用、市長部局から2人、1人市長部局へ、実数114人となる。

平成24年3月31日 職員8人退職により、実数106人となる。

4月1日 職員6人採用、市長部局から2人、2人市長部局へ、実数112人となる。  
森分署2名増員し、23人となる。  
中東遠地域5消防本部消防通信指令事務協議会設立  
中東遠地区5消防本部（袋井市森町広域行政組合袋井消防本部、御前崎市消防本部、菊川市消防本部、掛川市消防本部、磐田市消防本部）にて中東遠消防指令センターの運用を開始し、職員6人を派遣する。  
中東遠消防指令センターの運用開始に伴い、警防課通信指令室を廃止する。

4月14日 新東名高速道路が開通する。

8月7日 静岡県代表として、第41回全国消防救助技術大会（はしご登はん）に出場する。

平成25年2月25日 全国共済農業協同組合連合会静岡県支部、遠州中央農業協同組合より  
高規格救急車1台寄贈され、救急袋井3号車を更新する。

- 2月28日 職員1人退職により、実数111人となる。
- 3月1日 袋井7号車（化学車）、41号車（救助工作車）を更新する。
- 3月31日 職員5人退職により、実数106人となる。
- 4月1日 職員定数条例改正、定数123人となる。  
職員9人採用、市長部局から1人、1人市長部局へ、実数116人となる。  
職員1人を県消防学校へ教官として派遣する。
- 5月31日 袋井消防署山梨分遣所新築工事に伴う起工式が行われる。
- 6月1日 職員1人を、緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練静岡県実行委員会事務局員として派遣する。
- 10月30日 静岡県高圧ガス危険物防災訓練が袋井浄化センターで開催される。
- 11月26日 静岡県西部地区消防長会大規模災害訓練をエコパにて開催する。
- 平成26年2月21日 袋井2号車（ポンプ車）を更新する。
- 3月28日 袋井消防署山梨分遣所落成式が行われる。
- 3月29日 新東名高速道路遠州森町スマートインターチェンジが開通する。
- 3月31日 職員2人退職により、実数114人となる。
- 4月1日 職員9人採用、市長部局から1人、1人市長部局へ、育児休業1人、実数122人となる。  
袋井市上山梨三丁目27-4に袋井消防署山梨分遣所を開署、職員10人を配置、水槽付ポンプ自動車1台、高規格救急自動車1台を配備する。
- 7月31日 静岡県代表として、第43回消防救助技術関東地区指導会（ロープブリッジ救出）に出場する。
- 10月25日 袋井市メロプラザにて静岡県防火のつどいが開催される。
- 11月5～6日 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が静岡県西部地区で開催される。  
袋井消防本部では図上訓練を実施する。
- 11月7日 市より指揮車が無償譲渡され、袋井52号車（指揮支援車）として運用開始する。
- 平成27年2月25日 袋井3号車（水槽付きポンプ車）を更新する。
- 2月26日 救急袋井2号車（高規格救急車）を更新する。
- 3月31日 職員3人退職により、実数119人となる。
- 4月1日 職員4人採用、市長部局から1人、1人市長部局へ、育児休業1人、実数123人となる。

- 7月17日 静岡県代表として、第44回消防救助技術関東地区指導会（ロープブリッジ救出）に出場する。
- 平成28年2月18日 袋井8号車（水槽付きポンプ車）を更新する。
- 2月23日 袋井62号車（指揮車）を更新する。
- 3月30日 東名高速道路小笠パーキングエリア上下線に緊急開口部を設置（掛川市）
- 3月31日 職員4人退職により、実数119人となる。
- 4月1日 職員4人採用、市長部局から2人、2人市長部局へ、育児休業1人、実数123人となる。
- 消防救急デジタル無線正式運用開始
- 7月31日 職員1人退職により、実数122人となる。
- 10月30日 職員1人退職（育児休業定数外）
- 11月30日 袋井63号車（連絡車）を更新する。
- 平成29年2月27日 救急浅羽1号車（高規格救急車）を更新する。
- 3月8日 袋井市森町広域行政組合袋井消防本部、袋井市消防団が平成28年度消防功労者消防庁長官表彰竿頭授受章
- 4月1日 職員定数条例改正、定数130人となる。
- 職員1人採用、市長部局から2人、2人市長部局へ、実数123人となる。
- 12月31日 職員1人退職により、実数122人となる。
- 平成30年1月31日 袋井66号車（支援車）を更新、緊急消防援助隊へ登録する。
- 2月16日 袋井64号車（連絡車）を更新する。
- 3月31日 職員3人退職により、実数119人となる。
- 4月1日 職員4人採用、市長部局から4人、3人市長部局へ、実数124人となる。
- 7月1日 救急ボイストラ使用開始
- 7月5日 袋井消防庁舎・袋井市防災センター建築に伴う起工式が行われる。
- 11月1日 袋井31号車（小型はしご付きポンプ車）を更新する。
- 12月31日 職員1人退職により、実数123人となる。
- 平成31年3月1日 職員1人を県消防防災航空隊へ派遣する。
- 3月31日 職員3人退職により、実数120人となる。
- 4月1日 職員4人採用、市長部局から4人、3人市長部局へ、実数124人となる。

- |           |  |
|-----------|--|
| 令和元年12月9日 | 袋井51号車（指令車）を更新する。  |
| 令和2年1月8日  | 袋井消防庁舎・袋井市防災センターが竣工する。   |
| 1月30日     | 救急森1号車（高規格救急車）を更新する。   |
| 2月19日     | 袋井消防庁舎・袋井市防災センターの落成式が行われる。   |
| 2月22～23日  | 袋井消防庁舎・袋井市防災センターの内覧会が行われる。   |
| 3月16日     | 袋井消防庁舎・袋井市防災センターの仮運用を開始する。   |
| 4月1日      | 職員4人採用、市長部局から3人、5人市長部局へ、実数126人となる。<br>袋井市国本2907番地に袋井消防庁舎・袋井市防災センターを開署する。<br>袋井消防本部エンブレムが変更となる。 |

概

況

## 広域行政組合の概況

袋井市森町広域行政組合は、袋井市、森町で構成され、消防（消防団に係るもの並びに水利施設の設置、維持及び管理に係るものを除く。）、し尿処理施設、ごみ処理施設及び火葬施設に関する事務を共同処理する一部事務組合です。

管内は、南に太平洋、北は赤石山脈に連なる山地の裾野に面し、南北 34.0 km、東西 6.8 kmと南北に非常に長い地形を有し、総面積 242.24 km<sup>2</sup>で、南に平地、北に山地と変化に富んだ美しい自然環境に恵まれています。

また、管内には東名高速道路、新東名高速道路、国道 1 号、J R 東海道線、東海道新幹線及び天竜浜名湖鉄道と多くの主要幹線が横断しています。平成 26 年 3 月には新東名高速道路遠州森町スマートインターチェンジが開通するなど東西交通の要所となっています。

管内人口は約 10 万 6 千人となっています。

# 1 袋井市森町広域行政組合管内情勢

## (1) 組合の概況

- ・構成市町 袋井市、森町
- ・袋井市外2町消防組合設立年月日 昭和46年4月1日  
本部設立年月日 昭和46年4月1日（袋井市消防本部 昭和38年4月1日）  
業務開始年月日 昭和46年4月1日（分署業務開始 昭和47年4月1日）
- ・袋井市森町浅羽町広域行政組合設立年月日 平成12年4月1日
- ・旧袋井市と旧浅羽町の合併により袋井市森町広域行政組合に名称変更 平成17年4月1日

### 本部・署所在地

袋井消防本部	袋井市国本2907番地
袋井消防署	袋井市国本2907番地
袋井消防署浅羽分署	袋井市浅名1045番地
袋井消防署山梨分遣所	袋井市上山梨三丁目27番地の4
袋井消防署森分署	周智郡森町森48番地の2

### 消防団所在地

袋井市消防団	袋井市国本2907番地
森町消防団	周智郡森町森2101番地の1

## (2) 面積、人口及び世帯数

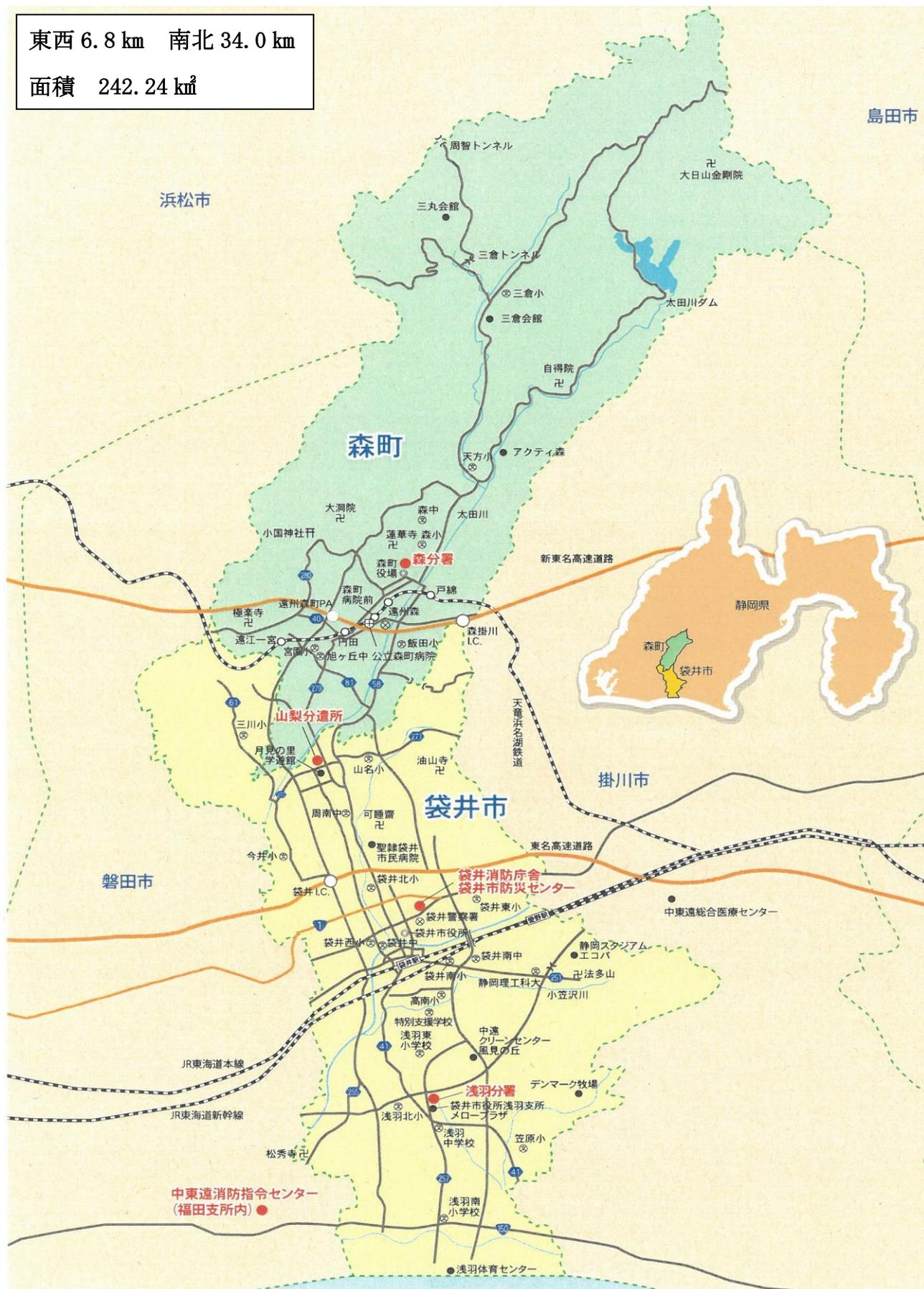
(令和2年4月1日現在)

項目	面積 (k m <sup>2</sup> )	人口 (人)	世帯数 (戸)
市町別			
袋井市	108.33	88,316	35,139
森町	133.91	18,142	6,646
計	242.24	106,458	41,785

### (3) 管内図

東西 6.8 km 南北 34.0 km

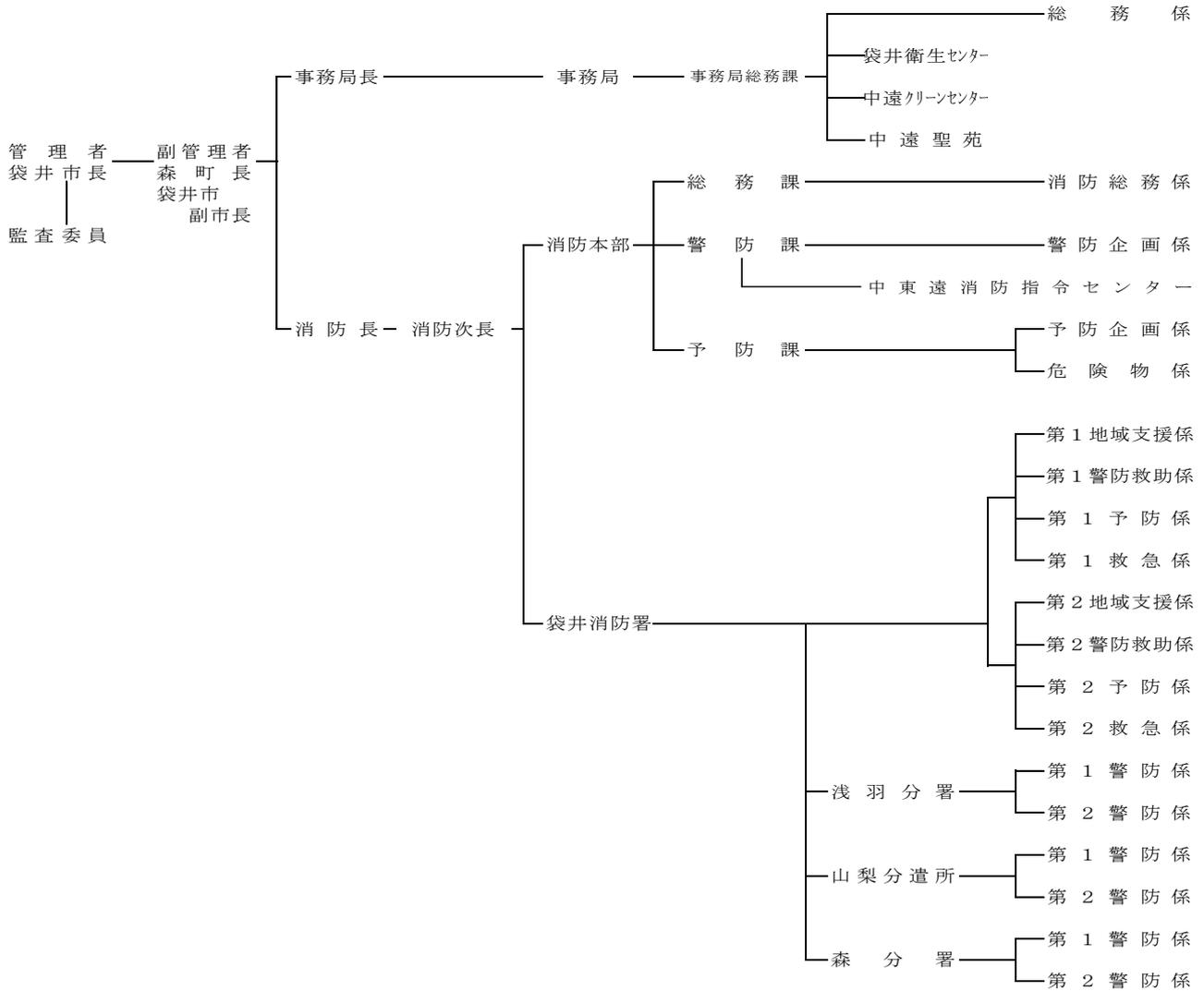
面積 242.24 km<sup>2</sup>



## 2 消防の組織

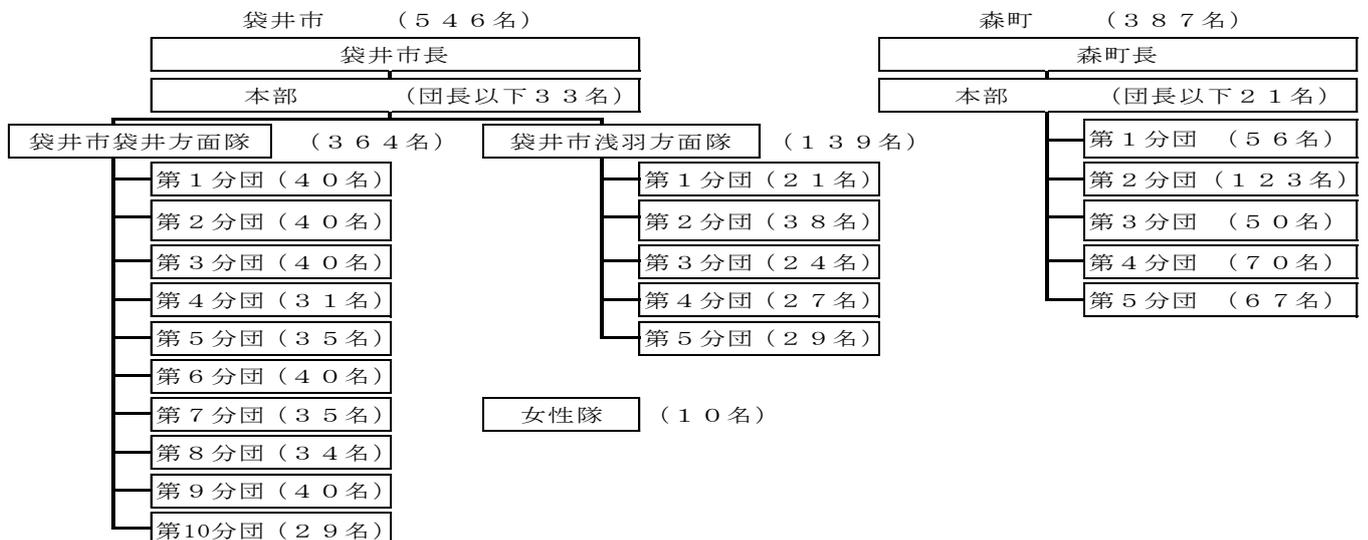
### (1) 消防本部・署

(令和2年4月1日現在)



### (2) 消防団

(令和2年4月1日現在)



### 3 消防本部・署の事務分掌

#### 総務課

##### 消防総務係

- (1) 消防の組織に関する事。
- (2) 消防の儀式及び会議に関する事。
- (3) 消防の企画に関する事。
- (4) 公印に関する事。
- (5) 消防の予算及び決算に関する事。
- (6) 消防に係る例規に関する事。
- (7) 消防に係る文書の收受、発送及び保管に関する事。
- (8) 消防職員の人事及び給与に関する事。
- (9) 消防職員の服務に関する事。
- (10) 消防職員の研修及び福利厚生に関する事。
- (11) 消防職員の衛生管理に関する事。
- (12) 消防職員の公務災害補償及び賞じゅつ金に関する事。
- (13) 消防の財産の取得、管理及び処分に関する事。
- (14) 消防の各種委員会に関する事。
- (15) 消防広域化に関する事。
- (16) 消防施設整備に関する事。
- (17) 消防に係る他の所管に属さない事。

#### 警防課

##### 警防企画係

- (1) 消防力の配備及び消防計画に関する事。
- (2) 水火災その他の災害の警戒及び防ぎよ並びに災害等による傷病者の搬送についての総括に関する事。
- (3) 消防団その他防災関係機関との連絡調整に関する事。
- (4) 消防水利に関する事。
- (5) 消防技術の研究及び訓練の総括に関する事。

- (6) 消防車両及び機器の整備並びに管理に関する事。
- (7) 救急業務及び救助業務の企画運営に関する事。
- (8) 救急業務に係る医療機関との連絡調整に関する事。
- (9) 消防統計に関する事。
- (10) 消防通信の運用並びに通信施設等の整備及び維持管理に関する事。
- (11) 各種災害情報の収集及び伝達に関する事。
- (12) 気象情報に関する事。
- (13) 同報無線に関する事。
- (14) 中東遠地域5消防本部消防通信指令事務協議会に関する事。
- (15) 大規模イベントの警戒に関する事。
- (16) 緊急消防援助隊、消防相互応援等に関する事。
- (17) その他警戒に関する事。

## 予防課

### 予防企画係

- (1) 建築許可等についての同意及び指導に関する事。
- (2) 防火管理者に関する事。
- (3) 消防用設備等の指導及び検査に関する事。
- (4) 予防査察に関する事。
- (5) 火気使用設備等の指導に関する事。
- (6) 防火協力団体の指導育成に関する事。
- (7) 袋井市森町広域行政組合火災予防条例（昭和46年袋井市外2町消防組合条例第21号）に規定する届出に関する事。
- (8) 火災予防思想の高揚及び火災予防の広報の総括に関する事。
- (9) 火災原因及び損害の調査に関する事。
- (10) 火災証明に関する事。
- (11) 火災統計に関する事。
- (12) 住宅及び高齢者等の防火指導に関する事。
- (13) 地震対策指導に関する事。
- (14) その他火災予防に関する事。

## 危険物係

- (1) 危険物製造所等についての許可、認可、検査、指導及び取締りに関すること。
- (2) 危険物施設等の立入検査等に関すること。
- (3) 指定数量未満の危険物、指定可燃物等の検査、指導等に関すること。
- (4) 危険物取扱者に関すること。
- (5) 煙火消費の許可等に関すること。
- (6) 高圧ガス等の指導に関すること。
- (7) 保安管理協会に関すること。
- (8) その他危険物の指導及び取締りに関すること。

## 消防署

### 第1 地域支援係・第2 地域支援係

- (1) 指揮隊及び情報管理室に関すること。
- (2) 消防団その他の団体等との連絡共助及び訓練指導に関すること。
- (3) 災害その他の情報の収集、連絡及び広報に関すること。
- (4) 職員の安全管理に関すること。
- (5) 消防署の施設運用に関すること。
- (6) 公印に関すること。
- (7) 消防署及び分署並びに分遣所間の連絡調整に関すること。
- (8) 消防署の庶務及び他の所管に属さないこと。

### 第1 警防救助係・第2 警防救助係

- (1) 消防地理及び水利に関すること。
- (2) 警防計画に関すること。
- (3) 消防車両及び機器の整備並びに管理に関すること。
- (4) 警防隊員の研修及び訓練に関すること。
- (5) 文書の収受並びに物品の出納及び管理に関すること。
- (6) 消防統計に関すること。
- (7) 特別救助隊に関すること。
- (8) 同報無線に関すること。

- (9) その他警防及び救助に関すること。

#### 第1 予防係・第2 予防係

- (1) 予防査察に関すること。
- (2) 火気使用設備等の指導に関すること。
- (3) 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- (4) 火災予防思想の高揚及び消防広報に関すること。
- (5) 防火指導及び防火等の相談に関すること。
- (6) 袋井市森町広域行政組合火災予防条例（昭和46年袋井市外2町消防組合条例第21号）に規定する届出に関すること。
- (7) 煙火の消費場所への調査指導に関すること。
- (8) その他予防に関すること。

#### 第1 救急係・第2 救急係

- (1) 救急業務に関すること。
- (2) 救急統計に関すること。
- (3) 救急隊員の研修及び訓練に関すること。
- (4) 応急手当の普及啓発に関すること。
- (5) その他救急に関すること。

#### 分署・分遣所

##### 第1 警防係・第2 警防係

- (1) 警防計画に関すること。
- (2) 消防車両及び機器の整備並びに管理に関すること。
- (3) 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- (4) 消防地理及び水利に関すること。
- (5) 袋井市森町広域行政組合火災予防条例に規定する届出に関すること。
- (6) 予防査察に関すること。
- (7) 火災予防思想の高揚及び消防広報に関すること。
- (8) 訓練指導に関すること。

- (9) 火気使用設備等の指導に関すること。
- (10) 煙火の消費場所への調査指導に関すること。
- (11) 警防隊員及び救急隊員の研修及び訓練に関すること。
- (12) 文書の收受並びに物品の出納及び管理に関すること。
- (13) 消防団との連絡共助に関すること。
- (14) その他分署及び分遣所に関すること。

#### 4 歴代消防長

区分	歴順	所属役職名等	氏名	在職期間
消 防 長	初代	(袋井市助役兼任)	平出 孝一	昭和 38. 04. 01～昭和 39. 11. 30
	2代	〃	鈴木 信平	昭和 40. 01. 01～昭和 43. 12. 31
	3代	〃	湖東 二郎	昭和 44. 01. 01～昭和 51. 08. 21
	4代	〃	右崎 勝彦	昭和 52. 01. 01～昭和 58. 02. 28
	5代	〃	村松 忍	昭和 58. 04. 01～昭和 63. 03. 31
	6代	〃	高田 吉郎	昭和 63. 12. 01～平成元. 03. 31
	7代	(以下専任消防長)	久野 松義	平成元. 04. 01～平成 03. 03. 31
	8代	〃	井口 育夫	平成 03. 04. 01～平成 06. 03. 31
	9代	〃	鈴木 弘	平成 06. 04. 01～平成 08. 03. 31
	10代	〃	鈴木 利保	平成 08. 04. 01～平成 10. 03. 31
	11代	〃	土屋 清	平成 10. 04. 01～平成 12. 03. 31
	12代	〃	寺井 雄二	平成 12. 04. 01～平成 13. 03. 31
	13代	〃	榛葉 雅明	平成 13. 04. 01～平成 15. 03. 31
	14代	〃	兼子 春治	平成 15. 04. 01～平成 16. 12. 31
	15代	〃	山田 英二	平成 17. 04. 01～平成 19. 03. 31
	16代	〃	永田 進	平成 19. 04. 01～平成 21. 03. 31
	17代	〃	鈴木 英二	平成 21. 04. 01～平成 22. 03. 31
	18代	〃	名倉 正一	平成 22. 04. 01～平成 23. 03. 31
	19代	〃	山本 喜久次	平成 23. 04. 01～平成 24. 03. 31
	20代	〃	戸塚 哲夫	平成 24. 04. 01～平成 25. 02. 28
	21代	〃	山本 季男	平成 25. 04. 01～平成 28. 03. 31
	22代	〃	牧野 敏男	平成 28. 04. 01～平成 30. 03. 31
	23代	〃	土屋 修次	平成 30. 04. 01～平成 31. 03. 31
	24代	〃	磯部 剛	平成 31. 04. 01～

## 5 消防庁舎の配置と概要

消防本部・署



袋井市国本 2907 番地 TEL (0538) 42-0119 FAX (0538) 43-5113  
敷地面積 8,196.42 m<sup>2</sup> (建設年月 令和2年1月)

本庁舎棟延面積 5,296.07 m<sup>2</sup>  
[鉄筋コンクリート造 (免震構造) ]  
1階 ..... 1,209.93 m<sup>2</sup>  
中2階..... 633.10 m<sup>2</sup>  
2階 ..... 1,225.00 m<sup>2</sup>  
3階 ..... 1,225.00 m<sup>2</sup>  
4階 ..... 947.1100 m<sup>2</sup>  
R階 ..... 55.93 m<sup>2</sup>

車庫備蓄倉庫棟延面積 295.38 m<sup>2</sup>  
[鉄骨造]  
1階 ..... 295.38 m<sup>2</sup>

総合訓練塔延面積 324.00 m<sup>2</sup>  
[鉄筋コンクリート造]  
1階 ..... 108.00 m<sup>2</sup>  
2階 ..... 72.00 m<sup>2</sup>  
3階 ..... 72.00 m<sup>2</sup>  
4階 ..... 72.00 m<sup>2</sup>

消防訓練塔延面積 192.00 m<sup>2</sup>  
[鉄筋コンクリート造]  
1階 ..... 48.00 m<sup>2</sup>  
2階 ..... 48.00 m<sup>2</sup>  
3階 ..... 48.00 m<sup>2</sup>  
4階 ..... 48.00 m<sup>2</sup>

浅羽分署

袋井市浅名 1045 番地

TEL (0538) 23-0119

FAX (0538) 23-3222

敷地面積 1,550.00 m<sup>2</sup>

庁舎延面積 734.52 m<sup>2</sup>

[鉄骨造]

1階 ..... 475.20 m<sup>2</sup>

2階 ..... 259.32 m<sup>2</sup>

(建設年月 平成6年3月)



山梨分遣所

袋井市上山梨三丁目 27 番地の 4

TEL (0538) 49-3119

FAX (0538) 49-3122

敷地面積 1,201.88 m<sup>2</sup>

庁舎延面積 509.25 m<sup>2</sup>

[鉄骨造]

1階 ..... 509.25 m<sup>2</sup>

(建設年月 平成26年3月)



森分署

周智郡森町森 48 番地の 2

TEL (0538) 85-0119

FAX (0538) 85-3950

敷地面積 2,386.11 m<sup>2</sup>

庁舎延面積 952.34 m<sup>2</sup>

[鉄筋コンクリート一部鉄骨造]

1階 ..... 646.68 m<sup>2</sup>

2階 ..... 305.66 m<sup>2</sup>

(建設年月 平成14年8月)



## 6 消防相互応援協定の締結状況

[締結年月日順]

名 称	締 結 市 町 村	締 結 年 月 日
静岡県消防相互応援協定	・静岡県内全市町村	昭和 62 年 3 月 2 日
隣接市町村消防相互応援協定	・磐田市	平成 13 年 3 月 28 日
隣接市町村消防相互応援協定	・掛川市	平成 14 年 8 月 28 日
静岡県西部地区内高速道路における消防相互応援協定	・菊川市・掛川市・磐田市 ・浜松市	平成 17 年 7 月 1 日
静岡県西部地区内新東名高速道路における消防相互応援に関する協定	・浜松市・磐田市・掛川市	平成 24 年 3 月 29 日
新東名高速道路内の島田金谷・森掛川 I C 間における消防相互応援に関する協定	・島田市・掛川市	平成 24 年 4 月 14 日

## 7 その他応援協定の締結状況

名 称	締 結 機 関	締 結 年 月 日
ガス事故発生時における応援対策に関する協定	袋井ガス(株)他 10 事業所	昭和 56 年 3 月 31 日

総

務

## 総務の概況

消防本部は、1本部（3課）・1署・2分署・1分遣所、職員126人で組織し、安全な地域社会の実現と住民の生命財産を守るため消防業務に取り組んでいます。

また、社会情勢の進展に的確に対応するため、各種研修の実施、資格の取得、消防大学校、静岡県消防学校、救急救命士養成所等への派遣を積極的に行い、職員の資質の向上に努めています。

令和2年度の行政組合における当初予算は3,257,000千円で、そのうち消防に係る当初予算は、消防費1,229,615千円、公債費165,839千円、予備費2,500千円の1,397,954千円です。

消防・行政・消防団の連携強化を図り、高まる防災意識や複雑多様化する災害へ迅速・的確に対応するため、消防庁舎と市防災センターを合同庁舎として令和2年4月から運用を開始しました。

# 1 職員の状況

## (1) 消防職員配置状況・階級別消防職員数の状況

(令和2年4月1日現在)

区 分		消 防 吏 員							事 務 職 員	合 計	
		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士			
消 防 本 部	消 防 長	1								1	
	消 防 次 長		1							1	
	総務課	課 長								1	1
		主 幹			1						1
		消防総務係			(1)	2	3				(1) 5
	警防課	課 長		1							1
		警防企画係				1	1				2
		指令センター				1	2	2			5
	予防課	課 長		1							1
		主 幹			1						1
		予防企画係				1	2	1			4
		危険物係			(1)		1				(1) 1
	小 計		1	3	(2) 2	5	9	3		1	(2) 24
	消 防 署	消 防 次 長		(1)							(1)
副 署 長				1						1	
本 署		主 幹			3						3
		第1地域支援係			(1)	2	1	1			(1) 4
		第2地域支援係			(1)	①2		2			(1) 4
		第1警防救助係				2	1	3	1		7
		第2警防救助係				1	3	1	2		7
		第1予防係			1		①2	1	1		5
		第2予防係				2	2	1	1		6
		第1救急係				2	2		2		6
浅羽分署		第2救急係			1	1	1	1	2		6
		分 署 長			1						1
		第1警防係				2	3	2	3		10
		第2警防係			1	1	3	1	3		9
山梨分遣所		分 遣 所 長			(1)						(1)
		主 幹			1						1
		第1警防係				2	1	1	1		5
	第2警防係			(1)	1	2	1			(1) 4	
森分署	分 署 長			1						1	
	第1警防係			1	2	3	①3	2		11	
	第2警防係				3	①4	2	2		11	
小 計			(1)	(4) 11	①23	②8	①20	20		(5) 102	
合 計		1	(1) 3	(6) 13	①28	②37	①23	20	1	(7) 126	

( ) 内は兼務、○数字は女性職員(うち数)

(2) 職員の階級別年齢状況

(令和2年4月1日現在)

階級 年齢	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員	合計
総数	1	3	13	28	37	23	20	1	126
平均年齢	58.0	52.7	47.7	42.5	33.9	27.7	22.3	55	35.1
20歳未満							2		2
20歳～24歳							17		34
25歳～29歳						17	1		7
30歳～34歳					25	6			25
35歳～39歳				2	11				13
40歳～44歳				23					23
45歳～49歳			11	3					14
50歳～54歳		2	2						4
55歳～59歳	1	1			1			1	4

(3) 職員の勤続年数状況

(令和2年4月1日現在)

階級 勤続年数	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務職員	合計
総数	1	3	13	28	37	23	20	1	126
平均勤続年数	40.0	31.3	27.4	22.3	12.7	7.1	2.7	1.0	14.2
5年未満						2	15	1	17
5年～9年					8	18	5		31
10年～14年					20	3			23
15年～19年				7	8				15
20年～24年			2	12		14.1			14
25年～29年		1	8	9					18
30年～34年		2	3						6
35年～39年					1				1
40年以上	1								1

## (4) 職員教育実施状況

(単位：人)

区分		年度	平成								令和 元	
			22	23	24	25	26	27	28	29		30
消防 大学 校	新任消防長・学校長科	1	1	1								1
	幹部科							1	1			
	救助科	1										
	危険物科											
	火災調査科		1	1								
	警防科				1	1						
	予防科						1					
	緊急消防援助隊教育科NBCコース							1	1			
静岡県 消防 大学 校	初任科	6	7	6	9	9	4	4	1	4	4	
	初級幹部科									1	1	
	中級幹部科	1	1	1			1	1	1	1	1	
	上級幹部科	1	1				1					
	警防科		1	1		1	1	1	1	1	1	
	火災調査科	1	1	1	1	1	2	1	2	2	2	
	予防査察・危険物科							1	2	2	2	
	救急科	6	3	4	2	3	6	6	6	3	4	
	救助科	3	2	2	1	1	2	1	2	2	3	
	水難救助科	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	
	女性消防吏員講習									1	1	
	実践的大規模災害対応講習									1	1	
	潜水士試験対策講習	2	1	1		1	1					
	ビデオ喉頭鏡講習				1	2	8	5	6	1	1	
	処置拡大追加講習						5	4	3	3	3	
	その他	救急救命士養成所研修				1			1	1	1	
指導救命士養成研修											1	
特別管理産業廃棄物管理責任者講習		1	1	1	1	1		2	2	1	1	
二級小型船舶操縦士免許(湖川小出力限定)		2	1	1	1	1	1	1	1	1		
ガス溶接技能講習		2	1	2	2	2						
小型移動式クレーン運転技能講習		2	1	2	1	1	1	2	2	1	1	
玉掛け技能講習		2	1	2	1	1	1	2	2	1	2	
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習		2	1	2	2	2	2	2	1			
潜水士国家試験		2	1	1		1	1	2				
予防技術検定試験		3	3	3	3	3	3	3	3			
危険物取扱者保安講習										2		
合計(延べ人数)		41	31	36	29	34	45	42	39	28	33	

## 2 組合予算の状況

令和2年4月1日現在

### (1) 袋井市森町広域行政組合予算総括

令和2年度当初予算額	令和元年度当初予算額	前年度対比	
		増減額	伸び率
千円 3,257,000	千円 5,263,000	千円 △2,006,000	% △38.1

### (2) 歳入予算の内訳（当初予算）

（単位：千円、％）

区 分	令和2年度当初予算		令和元年度当初予算		前年度対比	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	伸び率
1 分担金及び負担金	2,757,701	84.7	3,453,172	65.6	△695,471	△20.1
2 使用料及び手数料	212,813	6.5	199,922	3.8	12,891	6.4
3 県 支 出 金	308	0.0	3,966	0.1	△3,658	△92.2
4 財 産 収 入	564	0.0	529	0.0	35	6.6
6 繰 入 金	3,000	0.1	85,000	1.6	△82,000	△96.5
7 繰 越 金	11,327	0.4	2,892	0.1	8,435	291.7
8 諸 収 入	26,987	0.8	29,918	0.5	△2,931	△9.8
9 組 合 債	244,300	7.5	1,487,600	28.3	△1,243,300	△83.6
10 寄 付 金	0.0	0.0	1.0	0.0	△1	△100
歳 入 合 計	3,257,000	100.0	5,263,000	100.0	△2,006,000	△38.1

## (3) 歳出予算の内訳 (当初予算)

(単位：千円、%)

区 分	令和2年度当初予算		令和元年度当初予算		前年度対比	
	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	伸び率
1 議会費	611	0.0	611	0.0	0.0	0.0
2 総務費	38,566	1.2	37,876	0.7	690	1.8
3 衛生費	1,360,211	41.8	1,355,379	25.8	4,832	0.4
4 消防費	1,229,615	37.8	3,312,829	62.9	2,083,214	△62.9
5 公債費	617,997	19.0	546,305	10.4	71,692	13.1
6 予備費	10,000	0.2	10,000	0.2	0.0	0.0
歳出合計	3,257,000	100.0	5,263,000	100.0	1,152,000	△38.1

## (4) 一般会計と消防予算 (当初予算)

(単位：千円)

区分 市町別	A 一般会計	B 消防費	比較 B —×100 A	C 常備消防費	比較 C —×100 B	非常備 消防費等
袋井市	35,200,000	1,515,618	4.3%	1,028,713	67.9%	486,905
森町	7,884,000	436,636	5.5%	300,911	68.9%	135,725
合計	43,084,000	1,952,254	4.5%	1,329,624	68.1%	622,630

## (5) 消防費分担金の5か年の推移 (当初予算)

(単位：千円)

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
袋井市	820,750	879,014	1,024,227	1,087,849	986,885
森町	261,605	262,415	298,551	317,641	287,996
合計	1,082,355	1,141,429	1,322,778	1,405,490	1,274,881

予

防

## 予 防 の 概 況

近年、死傷者が多数発生するなどの社会的影響の大きい火災を受け、消防法が見直され消防用設備等の設置基準が相次いで改正されています。このような状況の中、地域における「安全・安心」に対する住民の関心は一段と高まり、消防行政に寄せられる期待はますます大きくなっていますので、消防行政は住民の生命・財産を守るため、防火対象物には予防査察を実施し、関係者へ法改正の周知、設置促進及び維持管理について指導を行うとともに地域住民には住宅用火災警報器の設置及び維持管理をはじめとする火災予防広報を積極的に推進していく必要があります。

予防査察は、消防法第4条又は16条の5の規定に基づき防火対象物の位置・構造・設備及び管理の状況について、立入検査を行っていますが、特に旅館・ホテル等不特定多数の者を収容する施設、高齢者・障害者・乳幼児その他の特に配慮を要する要配慮者を収容する施設等については、一度火災が発生すると被害が甚大なものとなるため、防火管理体制の確立、消防用設備等の維持管理の徹底等、防火安全対策について指導を行っています。

また、消防法令に関する重大な違反のある建物の情報を、利用する方が自ら入手し、建物の利用の適否を判断することで火災被害の軽減を図ることを目的に「違反對象物に係る公表制度」が平成31年4月1日から施行されました。この制度に基づき住民の安全確保を図っていきます。

火災予防広報は、住民の防火意識高揚を図るため、住宅用火災警報器設置効果の周知、春・秋の火災予防運動、高齢者世帯の防火訪問等あらゆる広報手段を用いて住宅用火災警報器の設置と維持管理を啓発し、住民が安心して暮らせる安全な地域づくりに向け、予防行政を推進しています。

## 1 主要事務事業

年 月 日	事務事業	実施状況
平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	広 報	市町広報紙・車両広報・防火パンフレットの配布等による防火の呼びかけを実施
平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	同意・通知・承認・届出の処理	建築同意170件・火災予防条例に基づく諸届883件の処理
平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日	消防用設備等の検査及び点検報告の受付処理	213件の消防用設備等の検査を実施 1,217件の消防用設備等の点検結果報告書の受付処理
平成31年4月10日 ～ 令和2年3月18日	立入検査等	618件の防火対象物の立入検査を実施 内違反対象物の随時査察35件、特別査察1件実施 128世帯の高齢者世帯防火訪問を実施
平成31年4月10日 ～ 令和2年2月21日	訓練指導等	事業所・学校・自治会等を対象に101件の訓練指導・防災講話等を実施
令和元年11月9日～15日 令和2年3月1日～7日	予 防 運 動	秋季火災予防運動の実施 春季火災予防運動の実施
令和元年6月10日 ～ 令和元年7月19日	花 火 教 室 等	幼稚園・保育園を対象に37件の花火教室、防火映画教室を実施
令和元年7月24日～25日 令和元年11月20日	講 習 会	甲種防火管理新規講習を実施 68人受講 甲種防火管理再講習を実施 14人受講
令和元年6月5日 ～ 令和2年3月31日	防火ポスター	少年消防クラブを編成する4小学校の少年消防クラブ員を対象とした防火ポスターの募集・審査・入賞作品の展示を実施

## 2 消防本部・消防署の立入検査状況

(令和元年度)

所 属 \ 項 目	対 象 物 数	計 画 数	実 施 数	実 施 率
消 防 本 部	1,809	270	301	111.5%
袋井消防署	2,940	133	156	117.3%
浅羽分署	856	81	86	106.2%
森 分 署	908	71	75	105.6%
合 計	6,513	555	618	111.4%

## 3 防火管理者選任状況

(令和元年度)

項 目 \ 市 町 別	袋井市	森 町	合 計
事 業 所 数	3,362	651	4,013
防火管理者を必要とする事業所	761	130	891
防火管理者選任済事業所	580	115	695
消防計画届出済事業所	556	111	667

#### 4 防火管理講習等実施状況

年度	甲種防火管理新規講習		甲種防火管理再講習		防火・防災管理再講習	
	実施回数	修了人数	実施回数	修了人数	実施回数	修了人数
27年度	2	107				
28年度	1	65			1	39
29年度	2	120				
30年度	1	69			1	30
令和元年度	1	68			1 (防火のみ)	14

#### 5 訓練指導等の状況

(令和元年度)

区分		自主防 自治会	学校等	事業所	その他	計
種 別	消 防 訓 練	4	32	29	13	78
	花火教室等		37			37
	防災講話等	2	16	3	2	23
人 員	参加人員	410	5,780	1,597	15,769	23,556
	消防職員	15	322	77	74	488

## 6 消防用設備等の検査状況

年 別 消 防 用 設 備 等		27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度
		消 火 設 備	屋 内 消 火 栓 設 備	4	10	10
屋 外 消 火 栓 設 備	7		12	15	3	7
ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	5		6	2	10	5
水 噴 霧 消 火 設 備						
泡 消 火 設 備						
不 活 性 ガ ス 消 火 設 備						1
ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備						
粉 末 消 火 設 備	3		1		1	6
動 力 消 防 ポ ン プ 設 備			2			
パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備			1	1	1	1
パ ッ ケ ー ジ 型 自 動 消 火 設 備				4		1
警 報 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	98	73	84	95	106
	ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備					
	漏 電 火 災 警 報 器					
	消 防 機 関 に 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	5	8	17	8	21
	非 常 警 報 設 備	15	20	18	14	6
避 難 設 備	避 難 器 具	1	1	5	3	3
	誘 導 灯	38	36	38	41	44
そ の 他 の 設 備	消 防 用 水			1	1	1
	排 煙 設 備				1	
	連 結 送 水 管					1
	非 常 コ ン セ ン ト 設 備					
合 計		176	170	195	186	213

## 7 中高層建築物の状況

(令和元年度)

市町別 項目	袋井市	森町	合計
3階	346	39	385
4階	140	12	152
5階	50	6	56
6階	13		13
7階	6		6
8階	2		2
10階	2		2
13階	1		1
合計	560	57	617

※一般住宅は、含まれておりません。

## 8 建築同意の状況

### (1) 過去5年間の建築同意件数

年別 市町別	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
袋井市	152	189	147	149	148
森町	29	43	35	34	22
合計	181	232	182	183	170

## (2) 用途別建築同意件数

(令和元年度)

令別表		項目	新築		増築		その他		合計
			袋井市	森町	袋井市	森町	袋井市	森町	
1	イ	劇場・映画館等			3				3
	ロ	公会堂・集会場	1						1
2	イ	キャバレー等							
	ロ	遊技場等							
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等							
	ニ	カラオケボックス等							
3	イ	待合・料理店等							
	ロ	飲食店	1	1					2
4		百貨店等	3						3
5	イ	旅館・ホテル等							
	ロ	共同住宅等	4	1					5
6	イ	病院・診療所等	5		2				7
	ロ	介護・障害者福祉(重度)	1						1
	ハ	介護・障害者福祉・保育所等	2						2
	ニ	幼稚園等							
7		学校等		1					1
8		図書館等							
9	イ	蒸気・熱気浴場							
	ロ	公衆浴場							
10		車両の停車場等							
11		神社・寺院等		1				1	2
12	イ	工場・作業所	8	4	6				18
	ロ	映画スタジオ等							
13	イ	自動車車庫等	3						3
	ロ	飛行機等格納庫							
14		倉庫	12	1	1	1	1		16
15		前各項以外の事業所	20	1	3				24
16	イ	特定用途の複合	1						1
	ロ	その他の複合							
17		重要文化財等							
		住宅等	65	9			6	1	81
		その他							
合計			126	19	15	1	7	2	170

## 9 高齢者世帯防火訪問結果

(令和元年度)

	実施予定数	実施数	実施率
高齢者世帯	188	128	68.1%

※80歳以上の1人暮らし世帯を対象に実施

### 訪問結果

内 容	指 導 事 項	指導件数
地震対策	1 非常持出品を用意すること。	49
	2 家具の転倒防止をすること。	68
	3 非常食を確保すること。	44
	4 飲料水を確保すること。	31
住宅用火災警報器	1 住宅用火災警報器を設置すること。	44

## 10 袋井保安管理協会

(令和元年度)

部 会 名 称	結成年月日	会 員 数	備 考
1 学 校 安 全 部 会	昭和56年4月1日	68事業所	
2 一 般 防 火 部 会	〃	156事業所	
3 工 場 防 火 部 会	〃	101事業所	
4 危 険 物 安 全 部 会	〃	46事業所	
5 高 圧 ガ ス 部 会	〃	9事業所	
合 計		380事業所	

## 11 幼少年女性防火委員会

### (1) 少年消防クラブ

(令和元年度)

名 称	結成年月日	クラブ員数	備 考
袋井北小学校少年消防クラブ	昭和58年4月1日	10人	
袋井西小学校少年消防クラブ	平成15年5月24日	5人	
浅羽南小学校少年消防クラブ	平成6年7月1日	令和元年度編成なし	
浅羽東小学校少年消防クラブ	平成9年6月30日	令和元年度編成なし	
森小学校少年消防クラブ	平成3年5月1日	16人	
宮園小学校少年消防クラブ	平成7年12月20日	14人	
合 計		45人	

### (2) 幼年消防クラブ

(令和元年度)

名 称	結成年月日	クラブ員数	備 考	
袋井市	山名幼稚園幼年消防クラブ	平成4年4月1日	146人	
	明和第一保育園幼年消防クラブ	平成5年2月1日	86人	
	明和第二保育園幼年消防クラブ	平成7年11月1日	87人	
	今井幼稚園幼年消防クラブ	平成7年12月20日	80人	
	笠原こども園幼年消防クラブ	〃	99人	
	高南幼稚園幼年消防クラブ	〃	83人	
	田原幼稚園幼年消防クラブ	〃	38人	
	西幼稚園幼年消防クラブ	〃	73人	
	東幼稚園幼年消防クラブ	〃	73人	
	南幼稚園幼年消防クラブ	〃	50人	
	三川幼稚園幼年消防クラブ	〃	48人	
	山梨幼稚園幼年消防クラブ	〃	283人	
	若草幼稚園幼年消防クラブ	〃	155人	
	若葉幼稚園幼年消防クラブ	平成15年6月13日	133人	
たんぼぼ保育園幼年消防クラブ	平成12年11月29日	80人		

名 称		結 成 年 月 日	ク ラ ブ 員 数	備 考
袋井市	めいわ可睡保育園幼年消防クラブ	平成12年12月6日	89人	
	南保育所幼年消防クラブ	平成12年12月11日	98人	
	袋井ハロー保育園幼年消防クラブ	平成17年12月16日	120人	
	ルンビニ保育園幼年消防クラブ	平成5年2月1日	96人	
	あさば保育園幼年消防クラブ	〃	84人	
	浅羽東幼稚園幼年消防クラブ	平成7年12月1日	103人	
	浅羽南幼稚園幼年消防クラブ	〃	67人	
	浅羽西幼稚園幼年消防クラブ	〃	50人	
	浅羽北幼稚園幼年消防クラブ	平成15年6月12日	57人	
	ルンビニ第二保育園幼年消防クラブ	平成21年4月1日	106人	
森町	ときわ保育園幼年消防クラブ	平成4年4月1日	137人	
	摩耶保育園幼年消防クラブ	〃	139人	
	天方幼稚園幼年消防クラブ	平成7年12月20日	17人	
	飯田幼稚園幼年消防クラブ	〃	51人	
	一宮幼稚園幼年消防クラブ	〃	35人	
	園田幼稚園幼年消防クラブ	〃	57人	
	三倉幼稚園幼年消防クラブ	〃	令和元年度休園	
	森幼稚園幼年消防クラブ	〃	80人	
小 計		袋井市 25クラブ 森町 8クラブ	2,394人 516人	
合 計		33クラブ	2,910人	

### (3) 女性防火クラブ

現在 編成なし

危 險 物

## 危険物施設の概況

管内には、県西部地区の産業基盤である自動車、オートバイの部品製造に関する危険物施設が多く存在します。平成 22 年と比較すると製造所や屋内貯蔵所は増加していますが、屋外タンク貯蔵所や一般取扱所及び給油取扱所は減少しており、全体的には減少傾向にあります。

また、令和元年度は、危険物施設に関する火災は 0 件、危険物施設のある敷地内での火災が 1 件ありました。危険物施設に関する危険物の流出事故は 0 件でした。危険物施設は減少しても、火災等はなくなり、今後も危険物に関する規制や保安管理について適切な指導を実施していきます。

### 1 危険物施設の推移

製造所等の別		年度									
		平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
製 造 所		9	9	9	11	11	11	11	11	11	12
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	108	112	115	117	119	120	121	119	115	122
	屋外タンク貯蔵所	165	164	160	151	143	140	136	132	124	122
	屋内タンク貯蔵所	5	5	5	5	5	2	2	2	2	2
	地下タンク貯蔵所	76	77	74	73	71	70	64	64	64	64
	簡易タンク貯蔵所	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4
	移動タンク貯蔵所	41	41	38	40	42	44	37	42	42	42
	屋 外 貯 蔵 所	10	10	10	11	10	10	9	9	9	11
	小 計	410	414	407	402	394	390	373	372	360	367
取 扱 所	給 油 取 扱 所	80	80	79	76	74	73	72	72	72	73
	一 般 取 扱 所	96	96	92	90	89	86	84	83	82	80
	小 計	176	176	171	166	163	159	156	155	154	153
合 計		595	599	587	579	568	560	540	538	525	532

(平成 26 年から年度集計にて計上)

## 2 危険物施設状況

区分		製造所等の別		合 計	製 造 所	貯 蔵 所					取 扱 所			
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所			屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
施設数		532	12	122	122	2	64	4	42	11	73		80	
市 町 別	袋井市	355	10	101	111	2	59	3	36	10	15		8	
	森町	177	2	21	11		5	1	6	1	58		72	
類 別 施 設 数	混在 第1類	22	2	10									10	
	第2類	1											1	
	第3類	2		2										
	第4類	506	10	109	122	2	64	4	42	11	73		69	
	第5類	1		1										
	第6類													
倍 数 別 施 設 数	5倍以下	168	3	54	26	1	22	4	20	4	3		31	
	5倍を超え10倍以下	100	4	24	17	1	16		5	5	3		25	
	10倍を超え50倍以下	138	2	20	43		16		12	2	32		11	
	50倍を超え100倍以下	59	1	9	23		7		5		7		7	
	100倍を超え150倍以下	27	1	9	7		2				7		1	
	150倍を超え200倍以下	13	1	6	1		1				3		1	
	200倍を超えるもの	27			5						18		4	
計		532	12	122	122	2	64	4	42	11	73		80	
事 務 処 理 数	許可	設置	19		5	5		1		2	1		5	
		変更	68	9	3	6		4		1	11		34	
	常置場所 の変更	転出	0											
		転入	3							3				
	完成検査	設置	26	1	8	5		3			2	1		6
		変更	77	9	5	5		4		1		11		42
		転入	3							3				
	仮使用承認	52	7	1	5		2				8		29	
	廃止届	18		1	6		3		2				6	
	計		266	26	23	32		17		10	4	32		122

火

災

## 火災の概況

令和元年中における火災件数は34件で、前年（32件）より2件増加しました。これは約11日に1件の割合で火災が発生したことになります。

火災種別ごとにみると、「建物火災」が20件（59%）、「その他火災」が10件（29%）、「車両火災」が4件（12%）の順となっています。

建物火災の焼損床面積は、2,352㎡で前年より1,391㎡の増加、焼損表面積は24㎡で前年より50㎡の減少となりました。

損害額については、361,684千円で前年より271,413千円の増加となり、建物火災の損害額が340,917千円で全体の94%を占めています。

火災による死者数は0人で、負傷者数においても1人でした。前年と比較すると、死者数は2人減、負傷者数は1人減となりました。

主な出火原因は、「放火(疑い含む)」が6件で最も多く、次いで「電気機器」及び「電気装置」がそれぞれ3件となっています。

# 1 令和元年中の火災

## (1) 火災の状況

区 分		計	内 訳		
			袋井市	森 町	
出 火 件 数		34	30	4	
焼 損 面 積	建物	2,352	2,352	0	
	(㎡)				表面積
	林 野 ( a )	207	0	207	
損 害 額 ( 千 円 )		361,684	360,708	976	
人口 1 万人当りの出火件数		3.2	3.4	2.2	

令和 2 年 1 月 1 日 現在人口 (106,764 人) (88,521 人) (18,243 人)

## (2) 火災の概要 (前年比較)

区 分		年 別		増 減	
		令和元年	平成 30 年		
出火 件数	建 物	20	22	△2	
	林 野	0	1	△1	
	車 両	4	2	2	
	そ の 他	10	7	3	
	計	34	32	2	
焼 損 面 積	建物	2,352	961	1391	
	(㎡)				表面積
	林 野 ( a )	207	50	157	
	そ の 他 ( ㎡ )	3,019	3,187	△168	
損 害 額 ( 千 円 )		361,684	90,271	271,413	
死 者		0	2	△2	
負 傷 者		1	2	△1	
り 災 世 帯 数		20	8	12	
り 災 人 員		31	23	8	

2 月別火災発生状況

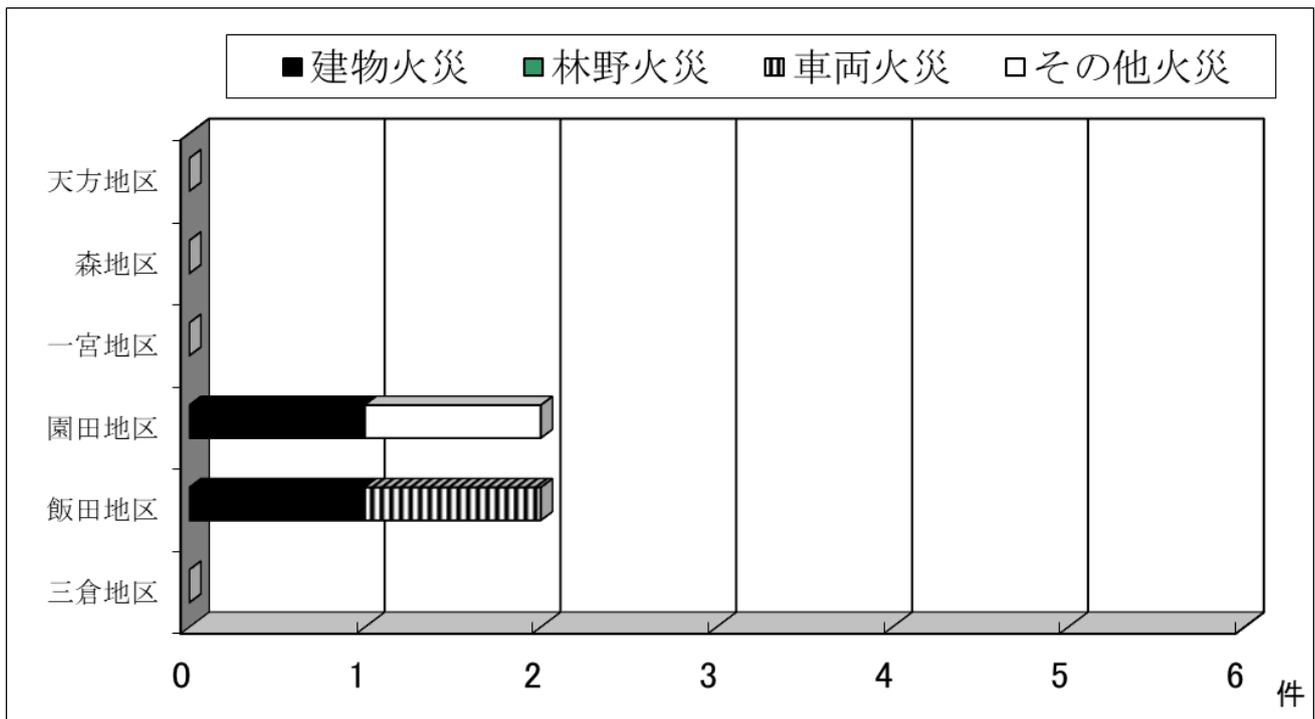
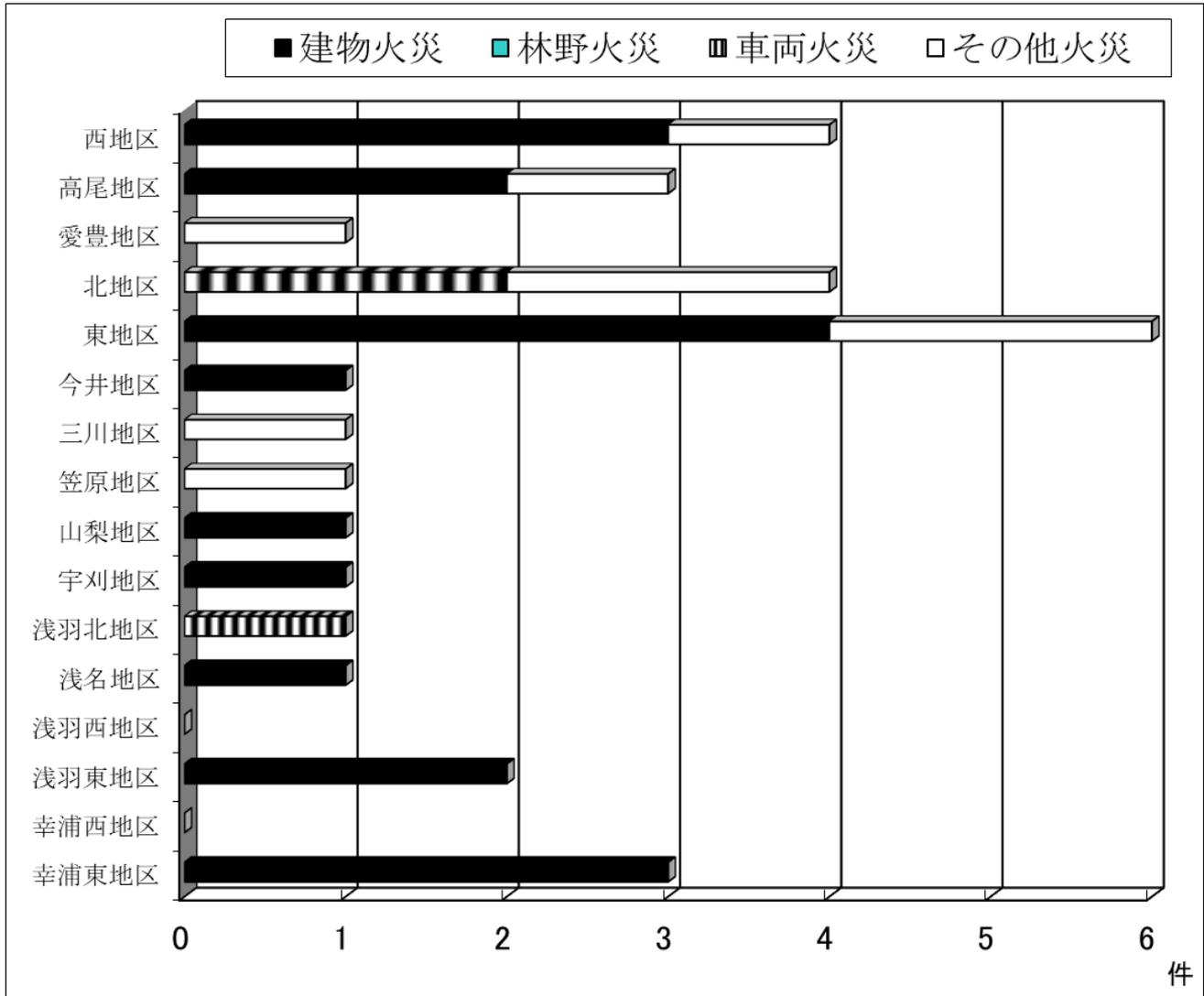
区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出火件数		4	1	5	3	2	3	1	2	4	2	3	4	34
建物	(件)	2		3	2	2	2	1		2	1	2	3	20
林野	(件)													
車両	(件)	1			1					1	1			4
その他	(件)	1	1	2			1		2	1		1	1	10
焼損棟数		2		3	2	2	2	1		3	1	2	5	23
住家全焼	(棟)			1						1				2
住家半焼	(棟)													
住家部分焼	(棟)									1	1	1		3
住家ぼや	(棟)						1	1		1			1	4
非住家	(棟)	2		2	2	2	1	1				1	4	14
罹災世帯数							1	1		14	1	2	1	20
罹災人員	(人)						5	2		19	1	2	2	31
死者	(人)													
負傷者	(人)			1										1
焼損面積	建物	1,408		717	2		1			111	4	21	88	2,352
	(m <sup>2</sup> )				1					23				24
	林野				207									207
	(a)													
その他	(m <sup>2</sup> )	68	17	2,857			5		53			2	17	3,019
損害額 (千円)		240,342		101,491	15	1,110	80	182	109	10,841	538	914	6,062	361,684
建物		223,537		99,461	15	1,110	80	182		9,238	318	914	6,062	340,917
林野														
車両		16,805		989						948	220			18,962
その他				1,041					109	655				1,805

### 3 出火原因別火災発生状況

(件)

区分 市町別	計		袋井市		森町	
	令和元年	平成30年	令和元年	平成30年	令和元年	平成30年
たばこ	2	1	2	1		
こんろ	1	1	1	1		
かまど						
風呂かまど						
炉		1				1
焼却炉	1		1			
ストーブ	1	1	1	1		
こたつ						
ボイラー						
煙突・煙道						
排気管		2		2		
電気機器	3	1	2	1	1	
電気装置	3	2	3	1		1
電灯・電話等の配線						
内燃機関	1				1	
配線器具	2		2			
火あそび						
マッチ・ライター						
たき火	1	2	1			2
溶接機・切断機						
灯火						
衝突の火花						
取灰						
火入れ	1		1			
放火						
放火の疑い	6	8	5	7	1	1
その他	10	8	9	7	1	1
不明・調査中	2	5	2	3		2
合計	34	32	30	24	4	8

#### 4 地区別火災発生件数



## 5 過去5年間の火災状況

区 分		年					
		平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	
出 火 件 数		34	22	50	32	34	
建 物 (件)		18	15	21	22	20	
林 野 (件)		0	1	7	1	0	
車 両 (件)		2	2	1	2	4	
そ の 他 (件)		14	4	21	7	10	
焼 損 棟 数		33	25	35	31	23	
住 家 全 焼 (棟)		4	2	4	2	2	
住 家 半 焼 (棟)		2	0	0	0	0	
住 家 部 分 焼 (棟)		5	4	4	4	3	
住 家 ぼ や (棟)		3	6	4	1	4	
非 住 家 (棟)		19	13	23	24	14	
り 災 世 帯 数		13	12	12	8	20	
り 災 人 員 (人)		40	29	36	23	31	
死 者 (人)		3	0	2	2	0	
負 傷 者 (人)		2	6	3	2	1	
焼 損 面 積	建 物 (㎡)	床面積	1,118	679	1,138	961	2,352
		表面積	191	18	186	74	24
	林野 (a)		0	0	16	50	207
	その他 (㎡)		16,767	308	4,993	3,187	3,019
損 害 額 (千円)		101,138	41,599	128,352	90,271	361,684	
建 物		100,014	41,056	126,839	87,725	340,917	
林 野		0	0	36	0	0	
車 両		293	501	1,021	2,519	18,962	
そ の 他		831	42	456	27	1,805	

## 6 過去10年間の主な火災（損害額1千万円以上の火災）

区分 年月日	出火 時刻	発生場所	火元 用途	気象				焼損 面積	損害額 (千円)
				天候	風向	風速	湿度		
21. 10. 28	13:00	袋井市豊住	住宅	晴	SSW	4.0	50.0	106	15,063
21. 12. 2	12:10	袋井市宇刈	養鶏舎	晴	W	2.0	44.0	751	20,288
22. 11. 9	21:00	袋井市新池	住宅	晴	WNW	5.0	55.0	90	11,100
23. 10. 31	2:40	袋井市湊	住宅	雨	NNW	1.0	77.0	187	12,787
23. 12. 25	9:00	袋井市太田	住宅	晴	WNW	8.0	63.0	216	24,756
25. 4. 29	不明	袋井市高尾	住宅	晴	SW	6.0	47.0	118	14,044
25. 7. 17	14:00	袋井市川井	倉庫	曇	SSW	8.0	72.0	641	30,718
26. 1. 25	18:30	袋井市岡崎	住宅	曇	SW	4.0	11.0	127	18,327
27. 5. 11	7:40	袋井市上山梨	車庫	晴	S	3.0	53.0	563	35,670
27. 11. 30	18:50	袋井市梅山	住宅	晴	E	0.0	84.0	353	47,343
28. 7. 25	16:35	袋井市泉町	住宅	晴	S	5.0	82.0	286	22,859
29. 4. 24	8:00	袋井市久能	倉庫	雨	S	4.0	100	196	14,201
29. 8. 13	11:25	袋井市春岡	住宅	晴	ESE	3.0	76.0	145	20,401
29. 11. 20	12:30	袋井市湊	工場	晴	WNW	7.0	57.0	322	31,801
29. 11. 28	19:45	袋井市高尾	工場	晴	N	2.0	92.9	134	25,254
30. 2. 9	7:50	袋井市上山梨	住宅	晴	WNW	2.0	49.0	279	33,271
30. 8. 13	17:40	袋井市諸井	住宅	雨	NNW	4.0	97.0	84	21,863
31. 1. 19	3:50	袋井市村松	工場	晴	W	6.0	51.0	1,408	240,339
31. 3. 20	14:43	袋井市西同笠	倉庫	晴	S	5.0	41.0	487	81,952

通

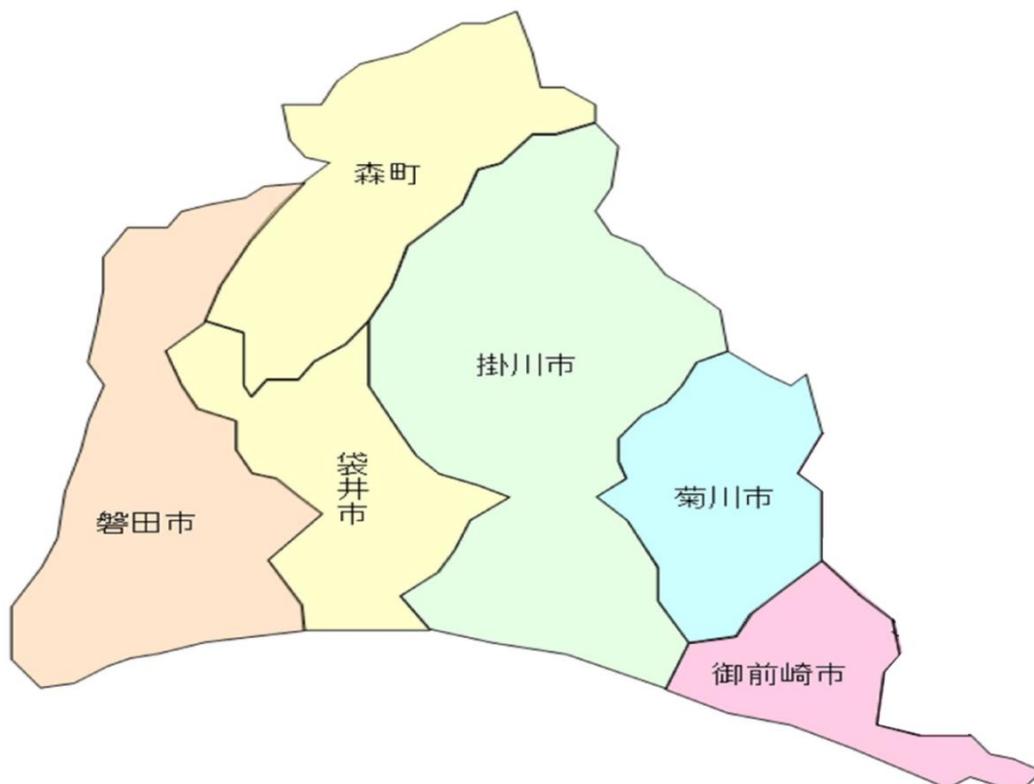
信

## 通信の概況

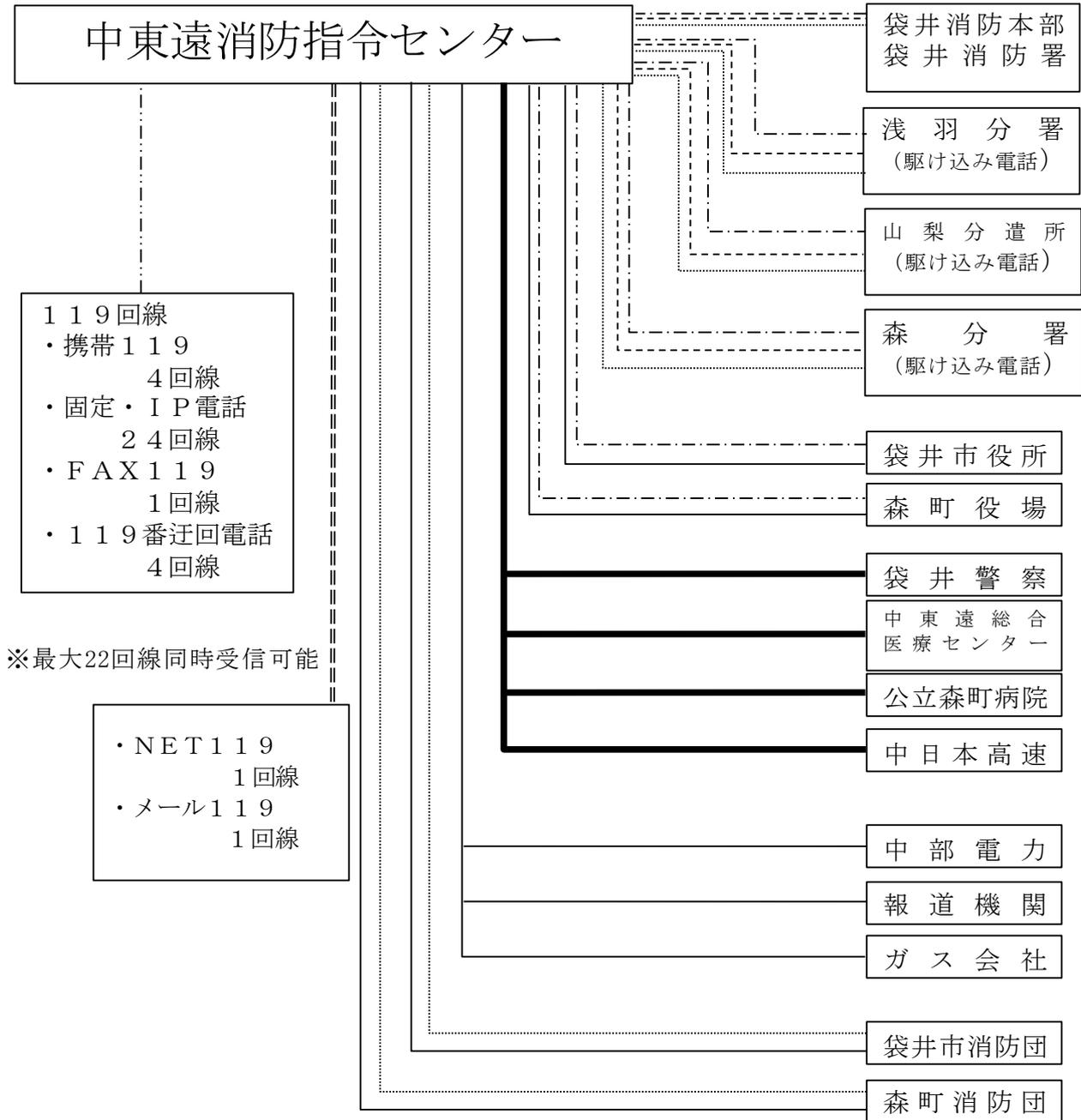
当消防本部通信指令室は、平成 24 年 4 月から中東遠地区 5 市 1 町（磐田市・袋井市・掛川市・菊川市・御前崎市・森町）の 5 消防本部において、指令業務を共同で行う「中東遠消防指令センター」を整備し、運用しております。主なシステムは、地図検索装置、自動出動指定装置等から構成され、119 番等の緊急通報に対する発信地表示システムの導入により、災害発生場所を早期に確定し、最適な出動隊を自動で編成することにより、現場到着までの時間短縮に繋がり、災害による被害の軽減、救命率の向上を図っております。

また、通報者に対し、救急車が現場に到着するまでの間、応急処置の方法や心肺蘇生法等について口頭指導を実施しております。

電波法の管理下にある消防救急無線は、法改正されアナログ無線方式から秘匿性の確保、個人情報漏洩が少ないデジタル無線方式へ移行しました。中東遠消防指令センターの母体である、中東遠地域 5 消防本部消防通信指令事務協議会において、5 消防本部のデジタル無線を共同整備し、平成 27 年 12 月 15 日から仮運用を開始し、平成 28 年 4 月 1 日に正式に運用しました。



# 1 連絡の仕組み



- 119専用電話
- 火災救急一斉指令
- 無線
- 専用線
- 加入電話
- ===== インターネット回線
- ..... ICCメール配信システム

## 2 消防無線の状況

基地局	署々別	呼出名	出力	機種名	搭載車両等			
小笠山 5w 城ヶ平 5w 活動波 主運用波 統制波	本	移動局	ふくろいしょうぼう	5W	ゼネラル	遠隔制御機		
			ふくろい 51	10W	ゼネラル	指令車		
			ふくろい 52	10W	ゼネラル	指揮支援車		
			ふくろい 65	10W	ゼネラル	査察車		
			ふくろい 66	10W	ゼネラル	支援車		
			ふくろい 73	10W	ゼネラル	広報車		
			ふくろい 160	10W	ゼネラル	卓上型無線機（半固定）		
	部	携帯	ふくろい 151	5W	ゼネラル	警防課長		
			ふくろい 152	5W	ゼネラル	予防課長		
			ふくろい 155	5W	ゼネラル	緊急消防援助隊用		
			ふくろい 156	5W	ゼネラル	緊急消防援助隊用		
	本	移動局	ふくろい 62	10W	ゼネラル	指揮車		
			ふくろい 1	10W	ゼネラル	水槽付ポンプ車		
			ふくろい 2	10W	ゼネラル	ポンプ車		
			ふくろい 7	10W	ゼネラル	化学車		
			ふくろい 31	10W	ゼネラル	小型はしご付ポンプ車		
			ふくろい 41	10W	ゼネラル	救助工作車		
			ふくろい 61	10W	ゼネラル	連絡車		
			ふくろい 74	10W	ゼネラル	水防車		
			きゅうきゅうふくろい 1	10W	ゼネラル	高規格救急車		
			きゅうきゅうふくろい 2	10W	ゼネラル	高規格救急車		
			署	携帯	ふくろい 100	5W	ゼネラル	指揮車
					ふくろい 101	5W	ゼネラル	水槽付ポンプ車
					ふくろい 102	5W	ゼネラル	ポンプ車
					ふくろい 103	5W	ゼネラル	化学車
	ふくろい 104	5W			ゼネラル	小型はしご付ポンプ車		
	ふくろい 105	5W			ゼネラル	救助工作車		
ふくろい 106	5W	ゼネラル			高規格救急車			
ふくろい 107	5W	ゼネラル			高規格救急車			
ふくろい 150	5W	ゼネラル			消防署長			
浅羽分署	移動局	ふくろい 3	10W	ゼネラル	水槽付ポンプ車			
		ふくろい 6	10W	ゼネラル	ポンプ車			
		ふくろい 64	10W	ゼネラル	連絡車			
		きゅうきゅうあさば 1	10W	ゼネラル	高規格救急車			
		ふくろい 162	10W	ゼネラル	卓上型無線機（半固定）			

※ふくろい160は災害対策本部用無線

基地局	署々別		呼出名	出力	機種名	搭載車両等
小笠山 5w 城ヶ平 5w 活動波 主運用波 統制波	浅羽分署	携帯	ふくろい 131	5W	ゼネラル	水槽付ポンプ車
			ふくろい 132	5W	ゼネラル	ポンプ車
			ふくろい 133	5W	ゼネラル	高規格救急車
	山梨分遣所	移動局	ふくろい 8	10W	ゼネラル	水槽付ポンプ車
			きゅうきゅうやまなし 1	10W	ゼネラル	高規格救急車
			ふくろい 161	10W	ゼネラル	卓上型無線機（半固定）
		携帯	ふくろい 141	5W	ゼネラル	水槽付ポンプ車
	ふくろい 142		5W	ゼネラル	高規格救急車	
	森分署	移動局	ふくろい 4	10W	ゼネラル	水槽付ポンプ車
			ふくろい 5	10W	ゼネラル	ポンプ車
			ふくろい 63	10W	ゼネラル	連絡車
			きゅうきゅうもり 1	10W	ゼネラル	高規格救急車
			ふくろい 163	10W	ゼネラル	卓上型無線機（半固定）
		携帯	ふくろい 121	5W	ゼネラル	水槽付ポンプ車
			ふくろい 122	5W	ゼネラル	ポンプ車
	ふくろい 123		5W	ゼネラル	高規格救急車	
	その他	移動局	ふくろい 170	10W	ゼネラル	西部危機管理局派遣用
			ふくろい 171	10W	ゼネラル	袋井市災害対策本部用
			ふくろい 172	10W	ゼネラル	袋井市現地災害対策本部用
			ふくろい 173	10W	ゼネラル	森町現地災害対策本部用

#### 400MHz帯無線

署々別		呼出名	出力	機種名
本部	携帯	ふくろい 451	1W	アイコム
		ふくろい 452	1W	アイコム
		ふくろい 461	1W	アイコム
		ふくろい 471	1W	アイコム
		ふくろい 472	1W	アイコム
		ふくろい 473	1W	アイコム
本署	携帯	ふくろい 400	1W	ゼネラル
		ふくろい 401	1W	ゼネラル
		ふくろい 402	1W	ゼネラル
		ふくろい 403	1W	ゼネラル
		ふくろい 404	1W	ゼネラル
		ふくろい 405	1W	ゼネラル
		ふくろい 406	1W	ゼネラル
		ふくろい 407	1W	ゼネラル
		ふくろい 408	1W	ゼネラル
		ふくろい 409	1W	ゼネラル
		ふくろい 410	1W	ゼネラル
		ふくろい 411	1W	ゼネラル
		ふくろい 412	1W	ゼネラル
		ふくろい 413	1W	ゼネラル
		ふくろい 414	1W	ゼネラル
		ふくろい 415	1W	ゼネラル
		ふくろい 416	1W	ゼネラル
ふくろい 417	1W	ゼネラル		
ふくろい 418	1W	ゼネラル		
ふくろい 419	1W	ゼネラル		

署々別		呼出名	出力	機種名
浅羽	携帯	ふくろい 431	1W	アイコム
		ふくろい 432	1W	アイコム
		ふくろい 433	1W	アイコム
		ふくろい 434	1W	アイコム
		ふくろい 435	1W	アイコム
		ふくろい 436	1W	アイコム
		ふくろい 437	1W	アイコム
		ふくろい 438	1W	アイコム
山梨	携帯	ふくろい 441	1W	ゼネラル
		ふくろい 442	1W	ゼネラル
		ふくろい 443	1W	ゼネラル
		ふくろい 444	1W	ゼネラル
森	携帯	ふくろい 421	1W	アイコム
		ふくろい 422	1W	アイコム
		ふくろい 423	1W	アイコム
		ふくろい 424	1W	アイコム
		ふくろい 425	1W	アイコム
		ふくろい 426	1W	アイコム
		ふくろい 427	1W	アイコム
		ふくろい 428	1W	アイコム

### 3 電話設置状況

種 別	所 属 別					
	指令センター	本部・本署	浅羽分署	山梨分遣所	森分署	計
1 1 9 専 用 回 線	32					32
F A X 1 1 9	1					1
N E T 1 1 9	1					1
メ ー ル 1 1 9	1					1
駆 け 込 み 通 報 装 置			1	1	1	3
袋 井 警 察 専 用 線	1					1
中 日 本 高 速 専 用 線	1					1
中 東 遠 総 合 医 療 セ ン タ ー 専 用 線	1					1
公 立 森 町 病 院 専 用 線	1					1
加 入 電 話	12	5	1	1	1	20
F A X	2	2	1	1	1	7
指 令 セ ン タ ー 内 線 電 話	30	1	1	1	1	34
テ レ ホ ン サ ー ビ ス 電 話		2				2
救 急 車 等 携 帯 電 話	1	5	2	2	2	12
衛 星 携 帯 電 話	1	2			1	4
森 町 役 場 内 線 電 話					1	1
計	85	17	6	6	8	122

※ 119 番回線は最大 22 回線まで同時受信可能

## 4 中東遠地域災害情報受信状況

令和元年の中東遠地域における119番通報は20,002件、1日当たり約55件です。

内訳は、火災・救急・救助・その他災害等の緊急通報が16,881件、いたずら134件、間違い1,450件、問合せ1,232件、その他305件で、緊急性のある通報は全体の84.4%です。（試験等は除く）

なお、携帯電話による通報が8,838件と一番多く、次いでIP電話が6,582件、NTT固定電話が4,582件となっています。

令和元年の袋井消防本部管内（袋井市・森町）における119番通報は4,297件です。

内訳は、火災・救急・救助・その他災害等の緊急通報が3,595件、いたずら75件、間違い296件、問合せ276件、その他55件で、緊急性のある通報は全体の83.7%です。

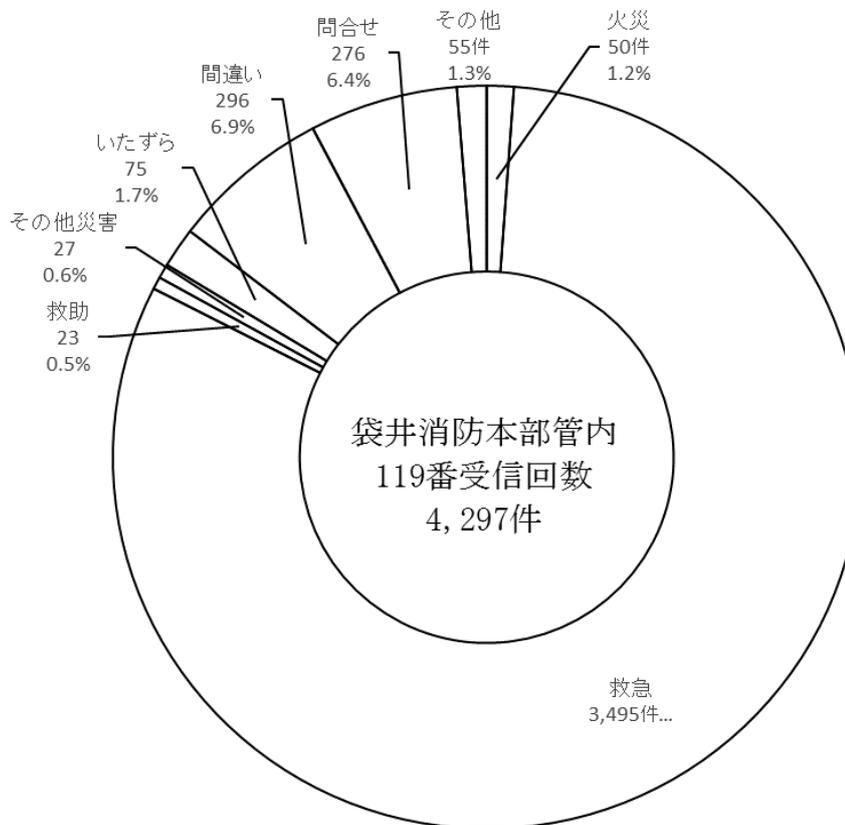
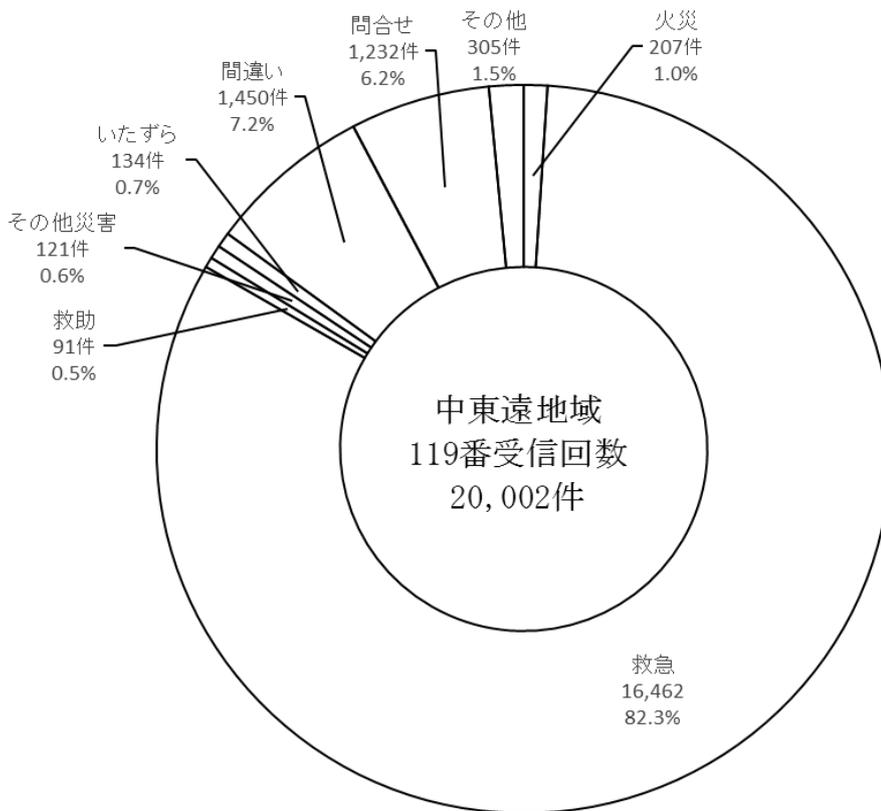
なお、携帯電話による通報が1,886件と一番多く、次いでIP電話が1,377件、NTT固定電話が1,034件となっています。

中東遠地域での袋井消防本部管内の119番受信比率は21.5%で、人口比率の22%（平成27年国勢調査データ参考）とほぼ同程度となっています。

### （1）119番通報受付（切断）状況（令和元年）

種別	中東遠（5市1町）				袋井消防本部（袋井市・森町）			
	固定	IP	携帯	計	固定	IP	携帯	計
火災	12	42	153	207	5	8	37	50
救急	3,829	5,943	6,690	16,462	813	1,249	1,433	3,495
救助	13	13	65	91	5	6	12	23
その他災害	29	14	78	121	5	4	18	27
小計	3,883	6,012	6,986	16,881	828	1,267	1,500	3,595
いたずら	79	16	39	134	64	0	11	75
間違い	300	219	931	1,450	69	43	184	296
問合せ	227	281	724	1,232	55	62	159	276
その他	93	54	158	305	18	5	32	55
小計	699	570	1,852	3,121	206	110	386	702
合計	4,582	6,582	8,838	20,002	1,034	1,377	1,886	4,297

(1) 119番通報受付（切断）状況（令和元年）



※ 試験・通報訓練は除く

## (2) 袋井消防本部 (袋井市・森町) 月別 119 番通報受付状況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火災	固定	0	0	3	0	1	0	0	0	1	0	0	0	5
	I P	3	0	1	1	1	0	0	0	2	0	0	0	8
	携帯	0	1	8	1	2	1	0	2	8	3	8	3	37
	小計	3	1	12	2	4	1	0	2	11	3	8	3	50
救急	固定	113	71	44	63	56	77	55	74	57	60	67	76	813
	I P	115	99	98	111	94	111	106	108	96	101	94	116	1,249
	携帯	157	88	98	109	115	110	140	133	135	115	126	107	1,433
	小計	385	258	240	283	265	298	301	315	288	276	287	299	3,495
救助	固定	0	0	0	1	1	0	0	2	0	1	0	0	5
	I P	0	2	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	6
	携帯	1	0	1	2	2	0	1	2	2	1	0	0	12
	小計	1	2	1	3	3	0	2	5	3	2	1	0	23
その他災害	固定	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	1	5
	I P	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	4
	携帯	1	1	0	2	2	1	4	2	1	1	3	0	18
	小計	2	1	1	3	2	3	5	2	1	3	3	1	27
いたづら	固定	0	0	0	1	30	33	0	0	0	0	0	0	64
	I P	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	携帯	0	2	0	0	7	0	0	0	1	1	0	0	11
	小計	0	2	0	1	37	33	0	0	1	1	0	0	75
間違い	固定	7	6	3	5	6	10	5	4	4	10	1	8	69
	I P	8	2	0	5	2	3	7	5	4	0	4	3	43
	携帯	14	7	8	14	11	6	35	17	13	17	21	21	184
	小計	29	15	11	24	19	19	47	26	21	27	26	32	296
問合せ	固定	10	7	3	4	5	5	9	1	1	0	1	9	55
	I P	8	8	4	5	5	2	8	5	4	4	4	5	62
	携帯	18	9	14	13	10	13	22	16	11	17	11	5	159
	小計	36	24	21	22	20	20	39	22	16	21	16	19	276
その他	固定	2	1	2	1	0	1	0	0	3	3	1	4	18
	I P	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	5
	携帯	1	1	1	2	5	2	6	2	4	3	3	2	32
	小計	4	2	3	3	7	4	6	2	7	6	4	7	55
合計		460	305	289	341	357	378	400	374	348	339	345	361	4,297

## 5 車載端末装置の設置状況

車載端末装置とは、車両動態管理システム（AVM）とGPSによる位置通知システム、消防専用カーナビゲーションシステムを有した液晶タッチパネル式のナビゲーションシステムであります。緊急自動車に設置することで、災害現場に直近の部隊を自動で編成するとともに、指令と同時に災害現場までの最短ルートや通報時の情報等を車載端末モニターに表示することができるなど、迅速な初動体制を実現します。

署所	車両名称	搭載車両等	機種名	備考
本部	袋井 52	指揮支援車	Ⅲ型	
	袋井 65	査察車	Ⅲ型	
	袋井 66	支援車	Ⅲ型	
	袋井 73	広報車	Ⅲ型	
本署	袋井 62	指揮車	Ⅲ型	
	袋井 1	水槽付ポンプ車	Ⅲ型	
	袋井 2	ポンプ車	Ⅲ型	
	袋井 7	化学車	Ⅲ型	
	袋井 31	小型はしご付ポンプ車	Ⅲ型	
	袋井 41	救助工作車	Ⅲ型	
	袋井 61	連絡車	Ⅱ型	
	救急袋井 1	高規格救急車	Ⅲ型	
	救急袋井 2	高規格救急車	Ⅲ型	
浅羽分署	袋井 3	水槽付ポンプ車	Ⅲ型	
	袋井 6	ポンプ車	Ⅲ型	
	袋井 64	連絡車	Ⅱ型	
	救急浅羽 1	高規格救急車	Ⅲ型	
山梨分遣所	袋井 8	水槽付ポンプ車	Ⅲ型	
	救急山梨 1	高規格救急車	Ⅲ型	
森分署	袋井 4	水槽付ポンプ車	Ⅲ型	
	袋井 5	ポンプ車	Ⅲ型	
	袋井 63	連絡車	Ⅲ型	
	救急森 1	高規格救急車	Ⅲ型	

Ⅱ型とⅢ型の違いについて

Ⅱ型… 車両動態管理システム（AVM）とGPSによる位置通知システムを有する。

Ⅲ型… 車両動態管理システム（AVM）とGPSによる位置通知システム、消防専用カーナビゲーションシステムを有する。

警

防

## 警 防 の 概 況

近年発生した、集合住宅・雑居ビル等の火災や、強風下における大火災等に対する防ぎよ体制の検討が全国的に進められております。

当消防本部においても、これらの災害に迅速かつ的確に対応するため、消防戦術の見直しや検討を行い、高度化する警防技術の習得を主眼に、災害による被害の軽減に向けて警防体制の強化に努めています。

# 1 消防本部・消防署の車両状況

## (1) 現有台数

令和2年4月1日現在

	本部	本署	浅羽分署	山梨分遣所	森分署	計
消防ポンプ自動車		1	1		1	3
水槽付消防ポンプ自動車		1	1	1	1	4
小型はしご付消防ポンプ自動車		1				1
化学消防ポンプ自動車		1				1
救助工作車		1				1
高規格救急自動車		2	1	1	1	5
指令車	1					1
指揮車		1				1
指揮支援車	1					1
査察車・連絡車・広報車	3	1	1		1	6
支援車・水防車	1	1				2
計	6	10	4	2	4	26

## (2) 配備状況

令和2年4月1日現在

区分	車両名	車名	購入年度	製造所・事業者等	経過年数	登録番号
本部	指令車	トヨタ	R 1	(有)袋井モータース	0	浜松 800 す 8374
	指揮支援車	トヨタ	H10	(有)袋井モータース	21	浜松 800 さ 672
	査察車	ホンダ	H20	(有)袋井モータース	11	浜松 800 す 2160
	広報車	スズキ	H13	(株)マルエスモータース	18	浜松 800 さ 4839
	支援車	三菱	H29	旭産業(株)	2	浜松 800 す 7374
	事務用連絡車	トヨタ	H19	ネッツトヨタ浜松(株)	12	浜松 500 む 7891
本署	消防ポンプ自動車	日野	H25	(株)モリタ	6	浜松 800 す 5309
	水槽付消防ポンプ自動車	日野	H14	(株)モリタ	17	浜松 830 は 119
	小型はしご付消防ポンプ自動車	日野	H30	(株)モリタ	1	浜松 800 は 1123
	化学消防ポンプ自動車	日野	H24	(株)モリタ	7	浜松 800 は 837
	救助工作車	日野	H24	(株)モリタ	7	浜松 800 は 835
	高規格救急自動車	トヨタ	H21	静岡トヨタ自動車(株)	10	浜松 800 す 2964
	高規格救急自動車	トヨタ	H26	静岡トヨタ自動車(株)	5	浜松 800 す 5779
	指揮車	トヨタ	H27	平和機械株式会社	4	浜松 800 す 6298
	連絡車	ダイハツ	H18	下村モータース	13	浜松 883 あ 61
	水防車	マツダ	H13	(有)袋井モータース	18	浜松 800 す 4148
浅羽	消防ポンプ自動車	日野	H17	(株)畠山ポンプ製作所	14	浜松 800 さ 9552
	水槽付消防ポンプ自動車	いすゞ	H26	(株)モリタ	5	浜松 800 は 931
	高規格救急自動車	トヨタ	H28	静岡トヨタ自動車(株)	3	浜松 800 す 6820
	連絡車	トヨタ	H29	ネッツトヨタ浜松(株)	2	浜松 800 す 7375
山梨	水槽付消防ポンプ車	日野	H27	(株)モリタ	4	浜松 800 は 993
	高規格救急自動車	トヨタ	H24	静岡トヨタ自動車(株)	7	浜松 800 す 4741
森	消防ポンプ自動車	日野	H20	(株)モリタ	11	浜松 800 す 2294
	水槽付消防ポンプ自動車	いすゞ	H16	(株)モリタ	15	浜松 800 は 390
	高規格救急自動車	トヨタ	R 1	(有)袋井モータース	0	浜松 800 す 8471
	連絡車	トヨタ	H28	ネッツトヨタ浜松(株)	3	浜松 800 す 6718

## 2 消防水利の状況

令和2年4月1日現在

地域別	区分	公設消火栓			公設防火水槽								防火井戸	総計
		地下	地上	合計	耐震性				非耐震性			合計		
					40t	60t	100t	小計	40t未満	40t以上	小計			
袋井市		1,228	8	1,236	350	5	41	396	194	48	242	638	28	1,902
森町		240	4	244	40			40	57	10	67	107		351
計		1466	12	1478	390	5	41	436	251	58	309	745	28	2251
袋井市	西地区	130		130	33	2	5	40	14	3	17	57	1	188
	高尾地区	120	2	122	25	1	8	34	2	4	6	40	2	164
	愛豊地区	117		117	38		2	40	16		16	56		173
	北地区	162		162	44		5	49	16	1	17	66	10	238
	東地区	88	1	89	15		4	19	13	1	14	33		122
	今井地区	53		53	25		1	26	15		15	41		94
	三川地区	51		51	17	1	1	19	13	3	16	35		86
	笠原地区	74		74	23		1	24	26	7	33	57		131
	山梨地区	99		99	24	1	6	31	5	5	10	41	9	149
	宇刈地区	34		34	15			15	12	3	15	30		64
	浅羽北地区	81	2	83	15		2	17	18	10	28	45	1	129
	浅名地区	35	1	36	12		3	15	9	2	11	26		62
	浅羽西地区	54		54	21		1	22	10	3	13	35		89
	浅羽東地区	49		49	25		1	26	8	1	9	35	1	85
	幸浦西地区	39	1	40	10		1	11	7	2	9	20	2	62
幸浦東地区	42	1	43	8			8	10	3	13	21	2	66	
森町	天方三倉地区	4		4	9			9	13		13	22		26
	森地区	107	3	110	12			12	3	6	9	21		131
	一宮地区	39		39	5			5	6	1	7	12		51
	園田地区	40		40	8			8	22	1	23	31		71
	飯田地区	50	1	51	6			6	13	2	15	21		72

救

急

## 救急の概況

平成 31 年 1 月 1 日から令和元年 12 月 31 日までの救急活動状況は、出動件数 3,589 件、搬送人員 2,692 人で、前年に比べ出動件数は 117 件減少し、搬送人員も 163 人減少しました。このことは 1 日平均約 9.83 件で、約 2 時間 25 分に 1 回の割合で救急車が出動したことになります。なお、1 日当たりの最多救急出動件数は 26 件でした。また、ポンプ車が救急隊支援のため出動した件数は 761 件（救急出動件数の 21.2%）で、昨年比去年に比べ 19 件増加しました。

出動件数を 11 種類に分類した事故種別で見ると、「急病」が最も多く、次いで「一般負傷」、「その他（転院搬送等）」、「交通事故」の順番となり、急病 2,384 件(66.4%)、一般負傷 534 件(14.9%)の両種別が、全体の 81.3%を占めています。

搬送人員は 2,692 人で、「急病」1,795 人(66.7%)と最も多く、次いで「一般負傷」380 人（14.1%）となり、両種別で全体の 80.8%を占めています。

また、収容先病(医)院状況では、「中東遠総合医療センター」、「公立森町病院」を中心に管内の 6 病(医)院へ 2,305 人(85.6%)、管外の病(医)院へ 387 人(14.4%)収容しました。

高齢者(65 歳以上)の搬送人員は 1,673 人で、全体の 62.1%を占めています。

## 1 市町別救急出動状況

市町別	令和元年		平成30年		比較増減(件数)
	出動件数	構成比%	出動件数	構成比%	
袋井市	2,884	80.4	3,067	82.8	▲ 183
	592	77.8	602	81.2	▲ 10
森町	653	18.2	608	16.4	45
	143	18.8	132	17.8	11
東名高速道路	18	0.5	5	0.1	13
	7	0.9	1	0.1	6
新東名高速道路	34	0.9	24	0.6	10
	19	2.5	7	0.9	12
管轄外	0	0.0	2	0.1	▲ 2
	0	0.0	0	0.0	0
合計	3,589	100.0	3,706	100.0	▲ 117
	761	100.0	742	100.0	19

※ 網掛けは支援出動に関する値。

※ 構成比は小数点第2位以下を調整し100.0%とする。以下同様。

## 2 事故別救急出動状況

事故別	出動件数	救急件数	出動件数 構成比%	搬送人員		
				男	女	計
火災	12	1	0.3	1		1
自然災害						
水難	3	1	0.1	1		1
交通	256	143	7.1	95	53	148
労働災害	43	35	1.2	31	4	35
運動競技	19	13	0.5	12	1	13
一般負傷	534	379	14.9	192	188	380
加害	9	6	0.3	3	3	6
自損行為	31	22	0.9	13	9	22
急病	2,384	1,795	66.4	941	854	1,795
その他	298	291	8.3	161	130	291
合計	3,589	2,686	100.0	1,450	1,242	2,692

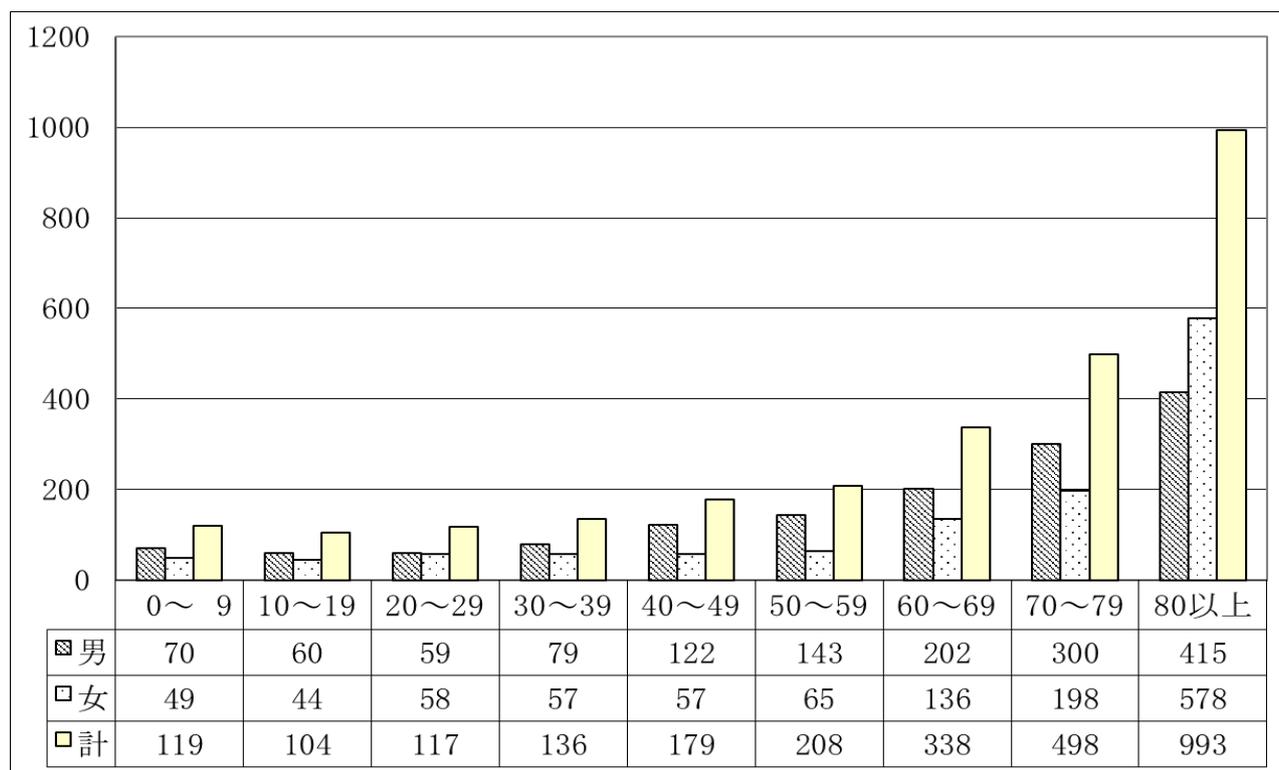
※ 救急件数とは傷病者を搬送した件数。

### 3 市町別事故別救急出動状況

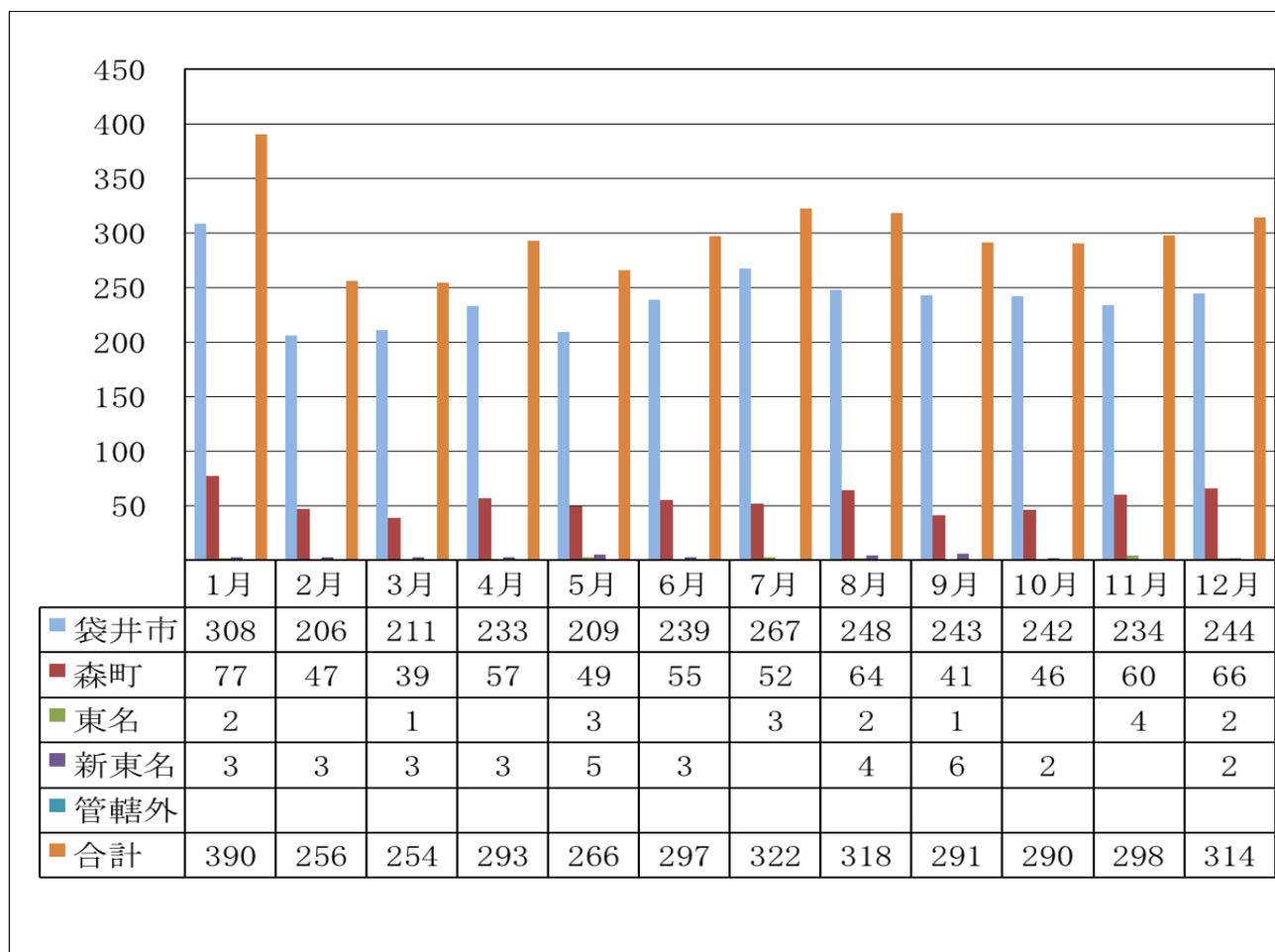
市町別 事故別	袋井市	森 町	東 名	新東名	管轄外	合 計
火 災	12					12
自 然 災 害						
水 難	3					3
交 通	205	35	6	10		256
労 働 災 害	36	7				43
運 動 競 技	16	3				19
一 般 負 傷	424	107	1	2		534
加 害	7	2				9
自 損 行 為	20	11				31
急 病	1,976	375	11	22		2,384
そ の 他	185	113				298
合 計	2,884	653	18	34		3,589

## 4 年齢別搬送人員

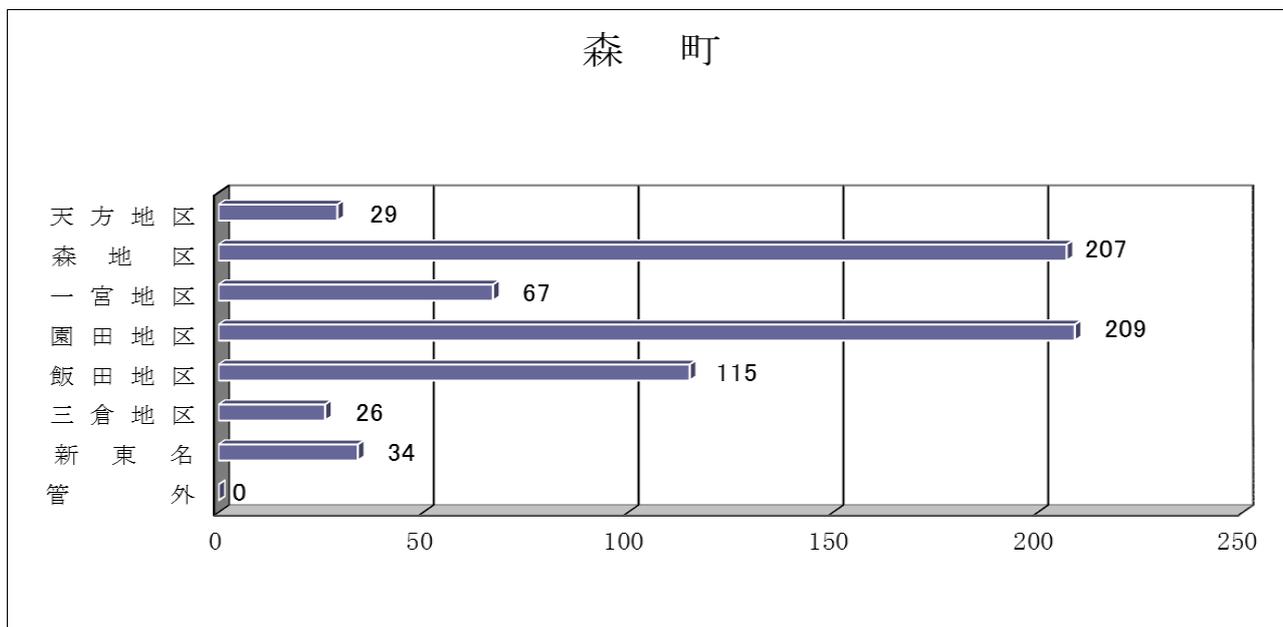
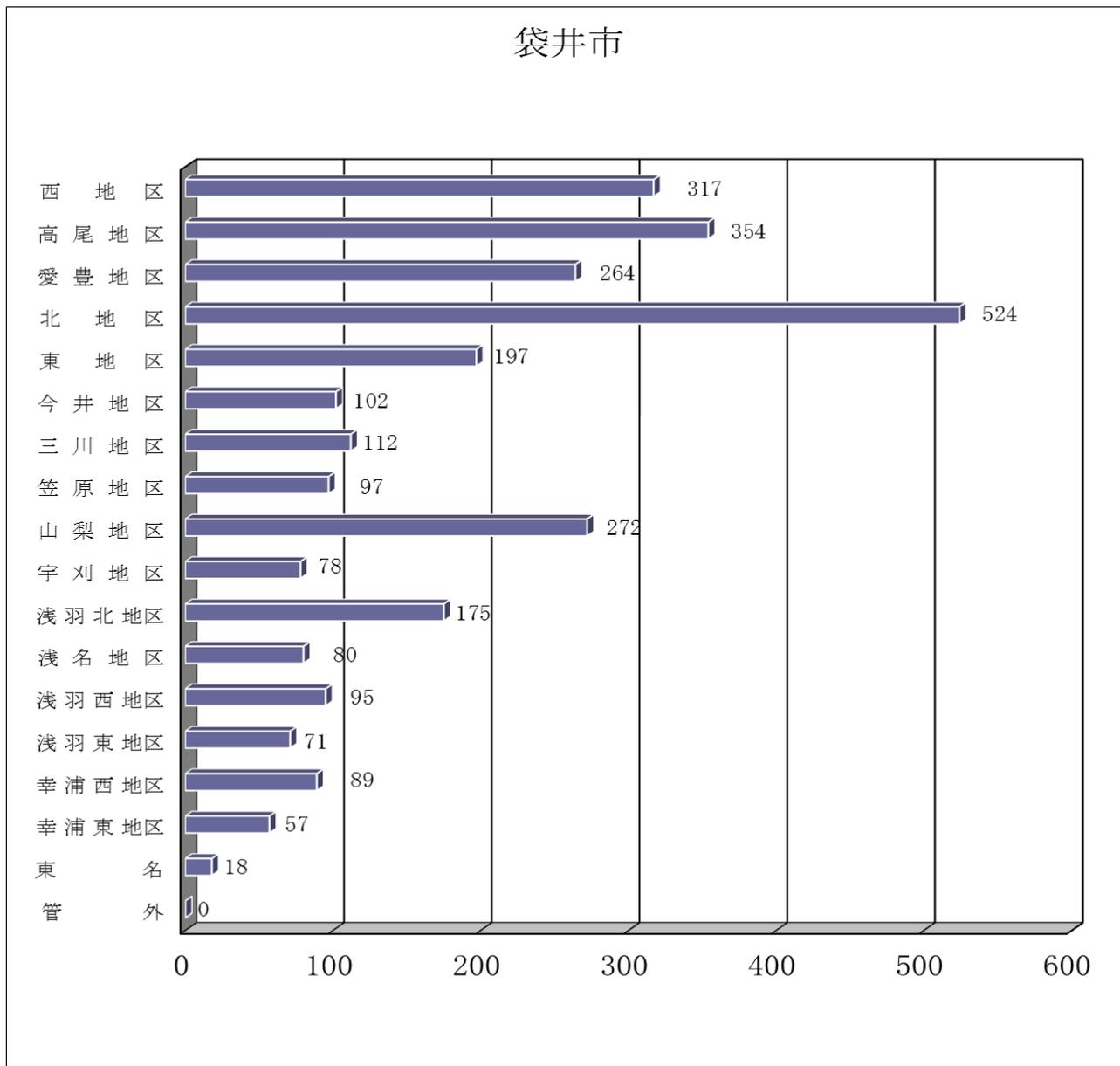
男 1,450人 女 1,242人 合計 2,692人



## 5 市町別月別救急出動状況



## 6 地区別出動状況





救

助

## 救助の概況

令和元年中における救助出動状況は、出動件数 45 件、救助人員 17 名で、前年に比べ出動件数 9 件、救助人員 6 名が減少しました。

救助種別で見ると、交通事故 17 件(38%)、火災 15 件(33%)で両種別で全体の 71%を占めています。

複雑多様化する災害に対応できる資機材の充実をはじめ、高度な専門知識と技能習得に努めるとともに、救助体制の一層の充実強化を図ることが必要です。

# 1 救助活動状況

区分		事故種別		交通事故	水難事故	風水害等	機械による事故	建よる等事に故	ガ酸ス欠及事び故	爆発事故	その他の故	計
		建物	建以物外									
出動件数	袋井市	10	4	14	3			2			5	38
	森町		1	2			1	1			1	6
	東名			1								1
	新東名											
	管轄外											
	計	10	5	17	3		1	3			6	45
活動件数	袋井市			7	3			1			2	13
	森町			1				1			1	3
	東名											
	新東名											
	管轄外											
	計			8	3			2			3	16
救助人員	袋井市			8	3			1			2	14
	森町			1				1			1	3
	東名											
	新東名											
	管轄外											
	計			9	3			2			3	17

# 2 事故種別発生場所別出動状況

区分		事故種別		交通事故	水難事故	風水害等	機械による事故	建よる等事に故	ガ酸ス欠及事び故	爆発事故	その他の故	計	
		建物	建以物外										
屋内	住居	6						2				8	
	その他の屋内	2	1									3	
屋外	道路	高速自動車道		1								1	
		その他の道路		1	13	1					1	16	
	水面	内水面			1	2							3
		外水面											
	山岳		1									1	
その他の屋外	2	2	2			1	1			5	13		
地下													
その他													
計		10	5	17	3		1	3			6	45	

### 3 月別出動状況

市町別	出動・活動	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
袋井市	出動件数	3	2	6	4	3	2	2	2	6	3	3	2	38
	(うち活動件数)	2		1	2	2		2		2		1	1	13
森町	出動件数				2	1			2	1				6
	(うち活動件数)								2	1				3
東名	出動件数											1		1
	(うち活動件数)													
新東名	出動件数													
	(うち活動件数)													
管轄外	出動件数													
	(うち活動件数)													
計	出動件数	3	2	6	6	4	2	2	4	7	3	4	2	45
	(うち活動件数)	2		1	2	2		2	2	3		1	1	16

### 4 最近5年間の救助出動及び活動件数

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
出動件数	64	47	66	54	45
活動件数	30	18	10	23	16
救助人員	32	16	11	23	17

## 5 救助工作車積載装備品一覧

一般救助器具	数量	呼吸保護用器具	数量
かぎ付きはしご	1	空気呼吸器	5
三連はしご	1	予備ボンベ	4
ワイヤはしご	1	防塵マスク	5
救命索発射銃	1	送排風機	1
サバイバースリング	1	エアラインマスク	5
救助用縛帯	4	隊員保護用器具	
平担架	1	革手袋	3
ロープ	複数	耐電手袋	6
カラビナ	40	安全带	4
滑車	9	防塵メガネ	3
重量物排除用器具		携帯警報器	5
油圧スプレッダー	1	化学防護服	4
可搬ウィンチ	1	耐電衣一式	2
ワイヤロープ	8	検索用器具	
救助用簡易起重機	1	簡易画像検索機	1
マット型空気ジャッキ一式	1	水難救助用器具	
大型油圧スプレッダー	1	救命胴衣	2
切断用器具		救命浮環	1
油圧切断機	1	山岳救助用器具	
エンジンカッター	1	バスケット担架	1
チェーンソー	1	その他の救助用器具	
鉄線カッター	1	投光器一式	1
空気鋸	1	携帯投光器	4
大型油圧切断機	1	携帯拡声器	2
空気切断機	2	携帯無線機	5
破壊用器具		応急処置用セット	1
万能斧	3	ロープ登降機	1
ハンマー	1	救助用降下機	1
携帯用コンクリート破壊器具	1	発電機	1
検知・測定用器具			
化学剤検知機	1		
可燃性ガス測定器	2		

消 防 団

## 消防団の概況

消防団は地域の防災体制の中核として、安全で住みよい地域社会の実現を目指し、昼夜を問わず郷土愛護の精神に基づき献身的な活動を行っています。

近年、都市化の進展と、生活様式や気象条件の変化などにより、災害の様相も複雑多様化、困難性を伴うものが多くなってきており、消防団の果たす役割はますます重要なものとなっています。

これら複雑多様化する消防業務に対処するために、消防団は消防署と連携し、常に地域の防災リーダーであることを自覚し、いついかなる事態にも対応できるように常に訓練を重ね、技術の練磨に努めています。

# 1 消防団の状況

(令和2年4月1日現在)

市町		階級										合計
		団長	副団長	本部長	分団長	副分団長	部長	副部長	班長	団員		
総計	条例定数	2	6	42	20	41	10	12	186	734	1053	
	現在人員	2	6	46	20	41	10	12	184	612	933	
袋井市	条例定数	1	3	29	15	30			108	474	660	
	現在人員	1	3	29	15	30			106	362	546	
	団本部		1	3	29							33
	袋井方面隊	第1分団				1	2			7	30	40
		第2分団				1	2			7	30	40
		第3分団				1	2			7	30	40
		第4分団				1	2			7	21	31
		第5分団				1	2			7	25	35
		第6分団				1	2			7	30	40
		第7分団				1	2			7	25	35
		第8分団				1	2			7	24	34
		第9分団				1	2			7	30	40
		第10分団				1	2			7	19	29
	浅羽方面隊	第1分団				1	2			6	12	21
		第2分団				1	2			7	28	38
第3分団					1	2			7	14	24	
第4分団					1	2			7	17	27	
第5分団					1	2			7	19	29	
女性隊									2	8	10	
森町	条例定数	1	3	17	5	11	10	12	78	256	393	
	現在人員	1	3	17	5	11	10	12	78	250	387	
	団本部		1	3	17							21
	第1分団				1	2	2	2	14	35	56	
	第2分団				1	3	2	4	25	88	123	
	第3分団				1	2	2	2	13	30	50	
	第4分団				1	2	2	2	13	50	70	
第5分団				1	2	2	2	13	47	67		

## 2 消防団の無線状況

### (1) 袋井市消防団

(令和2年4月1日現在)

団別	呼出名	出力	機種名	積載車両 (貸与消防団員含む)	
袋井	移動	ふくろい 71	10W	ゼネラル	指令車
		ふくろい 72	10W	ゼネラル	指令車
		ふくろい にし 1	10W	ゼネラル	袋井第1分団ポンプ車
		ふくろい たかお 1	10W	ゼネラル	袋井第2分団ポンプ車
		ふくろい あいとよ 1	10W	ゼネラル	袋井第3分団ポンプ車
		ふくろい あいとよ 2	10W	ゼネラル	袋井第3分団可搬積載車
		ふくろい きた 1	10W	ゼネラル	袋井第4分団ポンプ車
		ふくろい ひがし 1	10W	ゼネラル	袋井第5分団ポンプ車
		ふくろい いまい 1	10W	ゼネラル	袋井第6分団ポンプ車
		ふくろい みつかわ 1	10W	ゼネラル	袋井第7分団ポンプ車
		ふくろい みつかわ 2	10W	ゼネラル	袋井第7分団可搬積載車
		ふくろい かさはら 1	10W	ゼネラル	袋井第8分団ポンプ車
		ふくろい かさはら 2	10W	ゼネラル	袋井第8分団可搬積載車
		ふくろい やまなし 1	10W	ゼネラル	袋井第9分団ポンプ車
		ふくろい うがり 1	10W	ゼネラル	袋井第10分団ポンプ車
		ふくろい うがり 2	10W	ゼネラル	袋井第10分団可搬積載車
袋井	局	あさば 1	10W	ゼネラル	浅羽第1分団積載車
		あさば 2	10W	ゼネラル	浅羽第2分団積載車
		あさば 3	10W	ゼネラル	浅羽第3分団積載車
		あさば 4	10W	ゼネラル	浅羽第4分団積載車
		あさば 6	10W	ゼネラル	浅羽第5分団積載車
		あさば 11	10W	ゼネラル	浅羽第1分団ポンプ車
		あさば 12	10W	ゼネラル	浅羽第2分団ポンプ車
		あさば 13	10W	ゼネラル	浅羽第3分団ポンプ車
		あさば 14	10W	ゼネラル	浅羽第4分団ポンプ車
		あさば 15	10W	ゼネラル	浅羽第5分団ポンプ車
		あさば 16	10W	ゼネラル	浅羽第5分団ポンプ車
		袋井市	携帯局	ふくろい 201	5W
ふくろい 202	5W			ゼネラル	副団長
ふくろい 203	5W			ゼネラル	副団長
ふくろい 204	5W			ゼネラル	副団長
ふくろい 205	5W			ゼネラル	袋井方面隊長
ふくろい 206	5W			ゼネラル	浅羽方面隊長
ふくろい 207	5W			ゼネラル	本部長
ふくろい 208	5W			ゼネラル	本部長
ふくろい 209	5W			ゼネラル	本部長
ふくろい 210	5W			ゼネラル	本部長
ふくろい 211	5W			ゼネラル	本部長
ふくろい 212	5W			ゼネラル	本部長
ふくろい 213	5W			ゼネラル	本部長
ふくろい 214	5W			ゼネラル	本部長
ふくろい 215	5W			ゼネラル	本部長

袋井市	携帯	ふくろい	216	5 W	ゼネラル	本	部	長	
		ふくろい	217	5 W	ゼネラル	本	部	長	
		ふくろい	218	5 W	ゼネラル	本	部	長	
		ふくろい	219	5 W	ゼネラル	予		備	
		ふくろい	220	5 W	ゼネラル	副	本	部	長
		ふくろい	221	5 W	ゼネラル	副	本	部	長
		ふくろい	222	5 W	ゼネラル	副	本	部	長
		ふくろい	223	5 W	ゼネラル	副	本	部	長
		ふくろい	224	5 W	ゼネラル	副	本	部	長
		ふくろい	225	5 W	ゼネラル	副	本	部	長
	ふくろい	226	5 W	ゼネラル	副	本	部	長	
	ふくろい	227	5 W	ゼネラル	副	本	部	長	
	ふくろい	228	5 W	ゼネラル	副	本	部	長	
	ふくろい	229	5 W	ゼネラル	副	本	部	長	
	ふくろい	230	5 W	ゼネラル	副	本	部	長	
	ふくろい	231	5 W	ゼネラル	副	本	部	長	
	ふくろい	232	5 W	ゼネラル	副	本	部	長	
	ふくろい	233	5 W	ゼネラル	副	本	部	長	
	ふくろい	234	5 W	ゼネラル	副	本	部	長	
		局	ふくろい	241	5 W	ゼネラル	袋井方面隊第1分団	長	
	ふくろい		242	5 W	ゼネラル	袋井方面隊第2分団	長		
	ふくろい		243	5 W	ゼネラル	袋井方面隊第3分団	長		
	ふくろい		244	5 W	ゼネラル	袋井方面隊第4分団	長		
	ふくろい		245	5 W	ゼネラル	袋井方面隊第5分団	長		
	ふくろい		246	5 W	ゼネラル	袋井方面隊第6分団	長		
	ふくろい		247	5 W	ゼネラル	袋井方面隊第7分団	長		
	ふくろい		248	5 W	ゼネラル	袋井方面隊第8分団	長		
	ふくろい		249	5 W	ゼネラル	袋井方面隊第9分団	長		
	ふくろい		250	5 W	ゼネラル	袋井方面隊第10分団	長		
	ふくろい		251	5 W	ゼネラル	浅羽方面隊第1分団	長		
	ふくろい		252	5 W	ゼネラル	浅羽方面隊第2分団	長		
	ふくろい	253	5 W	ゼネラル	浅羽方面隊第3分団	長			
	ふくろい	254	5 W	ゼネラル	浅羽方面隊第4分団	長			
	ふくろい	255	5 W	ゼネラル	浅羽方面隊第5分団	長			
	ふくろい	256	5 W	ゼネラル	予	備			

(2) 森町消防団

(令和2年4月1日現在)

団別	呼出名	出力	機種名	積載車両 (貸与消防団員含む)
森町	もり	201	10W	ゼネラル 指揮車
	もり	202	10W	ゼネラル 照明車
	もり	211	10W	ゼネラル 第1分団ポンプ車
	もり	212	10W	ゼネラル 第1分団可搬積載車
	もり	261	10W	ゼネラル 第1分団ポンプ車
	もり	262	10W	ゼネラル 第1分団可搬積載車

森 町	移 動 局	もり	221	1 0 W	ゼネラル	第 2 分 団 可 搬 積 載 車
		もり	222	1 0 W	ゼネラル	第 2 分 団 ポ ン プ 車
		もり	223	1 0 W	ゼネラル	第 2 分 団 ポ ン プ 車
		もり	224	1 0 W	ゼネラル	第 2 分 団 ポ ン プ 車
		もり	225	1 0 W	ゼネラル	第 2 分 団 可 搬 積 載 車
		もり	231	1 0 W	ゼネラル	第 3 分 団 ポ ン プ 車
		もり	232	1 0 W	ゼネラル	第 3 分 団 可 搬 積 載 車
		もり	241	1 0 W	ゼネラル	第 4 分 団 ポ ン プ 車
		もり	242	1 0 W	ゼネラル	第 4 分 団 可 搬 積 載 車
		もり	251	1 0 W	ゼネラル	第 5 分 団 ポ ン プ 車
		もり	252	1 0 W	ゼネラル	第 5 分 団 可 搬 積 載 車
	携 帯 局	もり	300	5 W	ゼネラル	消 防 団 事 務 局
		もり	301	5 W	ゼネラル	団 長
		もり	302	5 W	ゼネラル	副 団 長
		もり	303	5 W	ゼネラル	副 団 長
		もり	304	5 W	ゼネラル	副 団 長
		もり	305	5 W	ゼネラル	指 導 本 部 長
		もり	306	5 W	ゼネラル	指 導 本 部 長
		もり	307	5 W	ゼネラル	指 導 本 部 長
もり		308	5 W	ゼネラル	指 導 本 部 長	
もり		309	5 W	ゼネラル	指 導 本 部 長	
もり		310	5 W	ゼネラル	本 部 長	
もり		311	5 W	ゼネラル	本 部 長	
もり		312	5 W	ゼネラル	本 部 長	
もり		313	5 W	ゼネラル	本 部 長	
もり		314	5 W	ゼネラル	本 部 長	
もり		316	5 W	ゼネラル	第 1 分 団 長	
もり		317	5 W	ゼネラル	第 1 副 分 団 長	
もり		326	5 W	ゼネラル	第 2 分 団 長	
もり	327	5 W	ゼネラル	第 2 副 分 団 長		
もり	336	5 W	ゼネラル	第 3 分 団 長		
もり	337	5 W	ゼネラル	第 3 副 分 団 長		
もり	346	5 W	ゼネラル	第 4 分 団 長		
もり	347	5 W	ゼネラル	第 4 副 分 団 長		
もり	356	5 W	ゼネラル	第 5 分 団 長		
もり	357	5 W	ゼネラル	第 5 副 分 団 長		

### 3 消防団員（年齢・勤務年数・職業）調べ

#### (1) 袋井市消防団

(団本部及び袋井方面隊)

(令和2年4月1日現在)

区 分		分 団										
		団本部	1分団	2分団	3分団	4分団	5分団	6分団	7分団	8分団	9分団	10分団
年 齢 別	20歳未満											
	20歳～24歳		1									
	25歳～29歳		3	12	7	2		2	1	7		10
	30歳～34歳	8	36	28	33	29	35	38	34	27	40	19
	35歳～39歳	22										
	40歳～44歳	3										
	45歳以上											
勤 続 年 数 別	1年未満		5	8	6	8	1	8	7	6	12	3
	1年以上～5年未満	4	30	22	29	20	27	30	28	26	28	20
	5年以上～10年未満	26	5	10	5	3	7	2		2		6
	10年以上～15年未満	3										
	15年以上～20年未満											
	20年以上											
職 業 別	農林水産業	2	1		1	2			3	4		2
	鉱業											
	建設業	3	3	5	2	6	8	3		3	3	3
	製造業	17	25	19	28	15	13	23	23	20	18	16
	卸売・小売業	1	1	2				3			4	
	金融・保険業								1	1		
	不動産業			1								
	運輸通信業	1	1	5		2	3	4		3	4	
	電気・ガス・水道			1	1		1			1	1	
	サービス業	4	8	5	2	1	4	5	3	2	8	5
	公務員	2		2	5	4	4	2	2		2	2
	その他	3	1		1	1	2		3			1
計	33	40	40	40	31	35	40	35	34	40	29	

## (浅羽方面隊及び女性隊)

(令和2年4月1日現在)

区分		分 団						計
		1分団	2分団	3分団	4分団	5分団	女性隊	
年 別	20歳未満							
	20歳～24歳	2		1	1		2	7
	25歳～29歳	12	16	16	14	12	1	115
	30歳～34歳	7	22	7	12	17		392
	35歳～39歳							22
	40歳～44歳						2	5
	45歳以上						5	5
勤 続 年 数 別	1年未満	4	4	1	1	3	2	79
	1年以上～5年未満	15	21	16	19	12	4	351
	5年以上～10年未満	2	12	7	7	14	4	112
	10年以上～15年未満		1					4
	15年以上～20年未満							
	20年以上							
職 業 別	農林水産業		1	1		1	1	18
	鉱業							
	建設業		5		2	1		47
	製造業	13	21	13	20	17		301
	卸売・小売業		1	3		2	1	18
	金融・保険業		1					3
	不動産業	1						2
	運輸通信業	1	4	1		2		31
	電気・ガス・水道		1					6
	サービス業	2	2	4	4	5	8	72
	公務員	2	1	2	1	1		33
	その他	2	1				1	15
	計	21	38	24	27	29	10	546

## (2) 森町消防団

(令和2年4月1日現在)

区 分		分 団						計
		団本部	1分団	2分団	3分団	4分団	5分団	
年 齢 別	20歳未満				2			2
	20歳～24歳		5	6	5		1	17
	25歳～29歳		24	34	12	25	20	115
	30歳～34歳		27	83	31	45	46	232
	35歳～39歳	19						19
	40歳～44歳	2						2
	45歳以上							
勤 続 年 数 別	1年未満		7	17	13	11	15	63
	1年以上～5年未満	1	25	63	19	42	41	191
	5年以上～10年未満	11	21	41	18	17	11	119
	10年以上～15年未満	8	3	2				13
	15年以上～20年未満	1						1
	20年以上							
職 業 別	農 林 水 産 業			1		3	3	7
	鉱 業							
	建 設 業	5	9	4	4	9	5	36
	製 造 業	6	23	67	27	36	35	194
	卸 売 ・ 小 売 業		4	8	2	2	5	21
	金 融 ・ 保 険 業	1		1		1		3
	不 動 産 業							
	運 輸 通 信 業		6	6	3	3	5	23
	電 気 ・ ガ ス ・ 水 道	1	2	1	1		2	7
	サ ー ビ ス 業	4	5	16	8	4	6	43
	公 務 員	4	7	16	5	10	4	46
	そ の 他			3		2	2	7
	計	21	56	123	50	70	67	387

#### 4 令和元年度実施した主な行事

月	袋井市消防団	森町消防団
4	袋井市消防団入退団式 新入団員講習会 分団車庫・水防倉庫査察 消防ポンプ性能検査 消防戦術及び消防無線講習会	森町消防団入退団式 分団別春季訓練 新入団員育成訓練
5	訓練礼式講習会 袋井市まとい会総会	消防ポンプ取扱い講習 消防ポンプ性能検査
6	消防ポンプ操法講習会 土砂災害防災訓練 水防工法講習会 太田川原野谷川治水水防組合水防演習（袋井市）	土砂災害防災訓練 水防工法講習会 太田川原野谷川治水水防組合水防演習（袋井市） 消防技術演習査閲
7		
8	ふくろい遠州の花火大会警戒	
9	袋井市総合防災訓練 第1回非常招集演習 磐周支部まとい会総会（磐田市） 全国女性消防団員活性化青森大会	森町総合防災訓練 磐周支部まとい会総会（磐田市） 静岡県消防操法大会（焼津市）
10	広報消防団発行	
11	袋井消防フェスタ 静岡県消防大会（森町） 秋季火災予防運動（広報）	静岡県消防大会（森町） 森町産業祭防災広報 秋季火災予防運動（広報） 分団別秋季訓練 招集演習訓練
12	袋井市地域防災訓練 第2回非常招集演習	森町地域防災訓練 鎮火祭
1	袋井市消防出初式	森町消防出初式 防災とボランティア週間（広報）
2	磐周支部幹部講習会（磐田市）	磐周支部幹部研修（磐田市） 幹部教養訓練 森町まとい会総会
3	春季火災予防運動	春季火災予防運動（広報）



#### 【エンブレムの紹介】

袋井市森町広域行政組合を構成している袋井市と森町の鳥と花（袋井市 フクロウ・コスモス、森町 カワセミ・ゆり）を配置することで、両市町の団結を表現し、色彩は、消防をイメージできるオレンジ、赤、青としています。

このデザインは、地域の次代を担う袋井市、森町の中高生を対象に公募を行い選定しました。

## 令和元年版 消防年報

令和2年6月発行

編集・発行 袋井市森町広域行政組合  
〒437-0012  
静岡県袋井市国本 2907 番地  
TEL 0538-42-0119（代表）

高まる防災意識や複雑多様化する災害へ  
迅速・的確に対応する消防防災拠点施設



令和2年、袋井消防庁舎と袋井市防災センターが誕生しました

## 袋井市森町広域行政組合袋井消防本部

袋井消防本部 〒437-0012 静岡県袋井市国本 2907 番地 TEL 0538-42-0119 (代表)

◇総務課	消防総務係	TEL 0538-44-5111	FAX 0538-44-5113
◇警防課	警防企画係	TEL 0538-44-5112	FAX 0538-44-5113
◇予防課	予防企画係	TEL 0538-44-5114	FAX 0538-44-5113
	危険物係	TEL 0538-44-5115	FAX 0538-44-5113

◇袋井消防署				
	〒437-0012	袋井市国本 2907 番地	TEL 0538-44-5119	FAX 0538-44-5751
◇浅羽分署				
	〒437-1102	袋井市浅名 1045 番地	TEL 0538-23-0119	FAX 0538-23-3222
◇山梨分遣所				
	〒437-0125	袋井市上山梨三丁目 27 番地の 4	TEL 0538-49-3119	FAX 0538-49-3122
◇森分署				
	〒437-0215	周智郡森町森 48 番地の 2	TEL 0538-85-0119	FAX 0538-85-3950